

別紙 1

平成 26 年度歯科衛生士・歯科技工士確保推進事業についての報告書

1. 目的と事業概要

新潟県内の歯科技工士・歯科衛生士を確保し、在宅や診療所等における安全かつ質の高い歯科医療・口腔ケアの安定的な提供を図るため、平成 26 年度は次の事業を行った。

(1) 関係者協議会等の開催

新潟県歯科医師会等職能団体、養成校等の代表者による協議会を設置・開催し、歯科技工士・歯科衛生士の確保に係る課題及び解決方策について協議を行った。

(2) 潜在歯科衛生士・歯科技工士実態調査の実施

歯科衛生士・歯科技工士有資格者の現在の就業実態と、離職者の復職支援に対するニーズ調査を行った。

2. 実施主体

実施主体は新潟県とし、事業を学校法人明倫学園明倫短期大学において実施した。

3. 関係者協議会等の開催

平成 26 年度は、新潟県歯科医師会との打ち合わせを含み、3 回の協議会を開催した。

(1) 「歯科衛生士・歯科技工士確保推進事業」に関する打ち合わせ

平成 27 年 1 月 16 日（金）19 時より、新潟県歯科医師会館において開催し、地域医療介護総合基金事業における新潟県歯科医師会の取り組みについての説明を受け、同事業における「歯科衛生士・歯科技工士確保推進事業」についての事業内容の説明と関係者協議会の設置等事業実施に対する協力依頼を行った。（資料 1－1）

(2) 関係者協議会の設置

関係者協議会は、新潟県歯科医師会より理事 2 名、新潟県歯科技工士会、新潟県歯科衛生士会よりそれぞれ会長が、歯科衛生士養成校の新潟大学歯学部口腔生命福祉学科、日本歯科大学新潟短期大学よりそれぞれ代表者 2 名、新潟県福祉保健部健康対策課より 2 名、事業担当幹事校の明倫短期大学より 4 名、計 14 名の委員で構成し、庶務 2 名を明倫短期大学事務局より配置した。

（資料 1－2）

(3) 平成 26 年度第 1 回関係者協議会の開催

平成 27 年 2 月 6 日（金）19 時より、新潟県歯科医師会館において、平成 26 年度第 1 回関係者協議会を開催し、事業内容の説明、歯科衛生士・歯科技工士確保推進に係る諸問題について協議を行った。（資料 1－3）

(4) 平成 26 年度第 2 回関係者協議会の開催

平成 27 年 3 月 18 日（水）14 時より、明倫短期大学において、平成 26 年度第 2 回関係者協議会を開催し、事業の進捗状況についての報告、潜在歯科衛生士・歯科技工士実態調査「歯科技工士・歯科衛生士有資格者の就業状況と復職支援に関する調査」の速報結果を受けた協議等を行っ

た。(議事録作成中)

4. 潜在歯科衛生士・歯科技工士実態調査の実施

新潟県内の歯科衛生士養成校・歯科技工士養成校及び各校同窓会の協力を得て、歯科衛生士・歯科技工士有資格者の就業実態を調査するとともに、潜在的歯科衛生士・歯科技工士の復職意識と復職支援に対するニーズ調査を行った。

(1) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査名「歯科技工士・歯科衛生士有資格者の就業実態と復職支援に関する調査」

(2) 調査内容

調査票は、歯科衛生士と歯科技工士で分け、調査項目については、明倫短期大学において原案を立案し、関係者協議会の了承を得た後、作成・発送した。(資料2-1)

(3) 調査対象

新潟県内に在住(同窓会名簿等に登録している)県内歯科技工士・歯科衛生士養成校卒業生

歯科衛生士養成校卒業生	
新潟大学歯学部口腔生命福祉学科卒業生	159人
日本歯科大学新潟短期大学	965人
明倫短期大学(歯友会歯科技術専門学校)	2,031人
小計	3,155人
歯科技工士養成校卒業生	
新潟大学歯学部附属歯科技工士学校	133人
明倫短期大学(歯友会歯科技術専門学校)	1,475人
小計	1,608人
合計	4,763人

(4) 調査期間

平成27年2月6日～2月23日(締め切り)

(5) 回答者数(平成27年3月27日現在)

歯科衛生士回答者数	1,222人	(回答率 38.7%)
歯科技工士回答者数	490人	(" 30.5%)
計	1,712人	(" 35.9%)

(6) 調査結果

回答者のうち、平成27年3月2日までに回収した以下の回答について集計を行った。

歯科衛生士回答者数	1,194人	((5) 全回答者の 97.7%)
歯科技工士回答者数	479人	(" 97.8%)
計	1,673人	(" 97.7%)

歯科衛生士の調査結果では、現在歯科衛生士として就業していないと回答した 417 人のうち、復職に対する設問回答において、「条件が合えば復職したい」が 31.9%、「復職研修が受講できれば復職したい」が 4.6%、「すぐにでも復職したい」が 1.9%であり、復職したいと考えている回答が 38.4%あった。その他「わからない」21.8%を加えると、6割程度が潜在的な復職意識を持っている可能性がある。

復職に際して、関心がある分野・領域をみると、「要介護者への専門的口腔ケア」が 26.1%と最も多く、次いで「診療所」が 25.4%、「地域歯科保健」が 25.2%であり高い割合を示している。復職するための研修希望の設問では、研修を「希望する」が 43.9%、「希望しない」が 46.5%であり、ほぼ同じ割合であった。復職のために希望する研修内容では、複数回答が可能な設問、最も希望する内容を選択する設問においても「専門的口腔ケア」が最も多い割合であった。

(資料 2-2-1)

歯科技工士の調査結果では、現在歯科技工士として就業していないと回答した 225 人のうち、復職に対する設問において、「条件が合えば復職したい」との回答が 16.0%、「復職研修が受講できれば復職したい」が 3.1%、「すぐにでも復職したい」が 0.9%であり、復職したいと考えている回答は離職者全体で 38.4%であった。復職するための研修希望の設問では、研修を「希望する」が 28.4%、復職のために希望する研修内容では、「CAD/CAM」が、複数回答可の設問、最も希望する内容を選択する設問においても最も多かった。(資料 2-2-2)

この調査結果については、締め切り後に回収した調査票、自由記載の内容を集計に加え、関係者協議会においての意見や分析を踏まえ、平成 27 年度 4 月以降に報告書としてまとめる予定である。

(7) 復職支援登録票

今回の調査実施にあたり、調査票に復職支援登録票を添付し、今後、復職支援のための研修会やネットワーク登録の希望者を募った。(資料 2-3-1)

平成 27 年 3 月 17 日までに、受付した登録者数は次のとおり。

歯科衛生士登録者数	363 人	(うち現在離職者	150 人)
歯科技工士登録者数	123 人	(” 53 人)
計	486 人	(” 203 人)

登録希望者を年齢別で見ると、歯科技工士、歯科衛生士ともに 40 歳代が最も多い(歯科衛生士では 30 歳代も同数)。経験年数の区分では、歯科技工士においては「5 年未満」が 27.6%で最も多く、歯科衛生士では「5 年以上 10 年未満」が 26.7%で最も多い。

尚、登録票はデータベース化し、今後の復職支援ネットワーク構築や復職支援講座開催時等に活用する。

以上

歯科衛生士有資格者の就業状況と復職支援に関する調査

- ・ 回答にかかる時間はおよそ5分です。
- ・ この調査票に記入された事項については、調査目的以外に用いることは一切ありませんので、事実をありのままご記入ください。
- ・ 平成27年1月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 記入の終わった調査票は、平成27年2月23日までに同封の返信用封筒によりご返送ください。
- ・ 調査票の内容などに不明の点がある場合は、下記担当までご連絡ください。

【調査実施機関・お問い合わせ先】

明倫短期大学 担当：総務課 渡邊 〒950-2086 新潟市西区真砂3-16-10
☎025-232-6351 (平日 9:00~17:00) FAX 025-232-6335 e-mail: tyosa@meirin-c.ac.jp

問1) あなたの年齢を教えてください。(○印は1つ)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳以上

問2) 現在の住所地を教えてください。

1. 新潟県 (市・町・村) 2. その他 (県)

問3) 現在、歯科衛生士として就業していますか。(○印は1つ)

1. はい 2. いいえ →裏面「問8」へ

問3-1) 現在の主な勤務先の就業状況を教えてください。(○印は1つ)

1. 常勤 (フルタイム) 2. 非常勤・パート 3. その他 (具体的に)

問4) 現在の仕事にやりがいを感じていますか。(○印は1つ)

1. 非常に感じている 2. ある程度感じている 3. あまり感じていない 4. 全く感じていない

問5) 歯科衛生士の仕事の魅力は何ですか。(あてはまるもの全てに○印)

1. 国家資格であり一生続けられる 2. 専門性の高い仕事である 3. 転職・就職に困らない
4. 収入が安定している 5. 人や社会に貢献できる 6. 人の健康を守る仕事である
7. その他 (具体的に)

問6) 現在の職場に最も改善してほしいことに◎印(1つ)、改善してほしいことに○印(いくつでも)をつけてください。(◎印は1つ、○印はいくつでも)

1. 専門性・資格等の評価 2. 教育研修等、レベルアップの機会の充実
3. 医療安全体制の充実 4. 待遇改善 (給与引上げ・昇給等)
5. 業務量の軽減 6. 職場の人間関係の改善
7. 労働時間の短縮 8. 休暇の取得 9. 子育ての支援の充実
10. 多様な勤務形態・勤務時間の導入 11. 雇用の安定性の確保 12. 福利厚生の実施
13. その他 (具体的に)

問7) 今後も歯科衛生士として働きたいと思いませんか。(○印は1つ)

1. 思う 2. 思わない →裏面「問17」へ

問7-1) 関心がある分野・職域は何ですか。(あてはまるもの全てに○印)

1. 診療所 2. 病院 3. 市町村 (保健センター等)
4. 保健所・都道府県行政 5. 事業所等の健康管理部門 6. 介護施設・障害者施設
7. 歯科衛生士養成機関 8. 地域歯科保健 9. 在宅歯科医療
10. 障害者歯科 11. その他 (具体的に)

問7-2) 歯科衛生士として何歳位まで働きたいですか。

- 歳位まで →裏面「問17」へ

問 8) 現在、歯科衛生士として就業していない理由は何ですか。最もあてはまるものに◎印（1つ）、あてはまるものに○印（いくつでも）をつけてください。（◎印は1つ、○印はいくつでも）

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|----------|
| 1. 仕事内容への不安 | 2. 給与・待遇の面 | 3. 職場の人間関係 | 4. 家庭の事情 |
| 5. 結婚 | 6. 出産・育児 | 7. 介護 | 8. 自分の健康 |
| 9. 歯科以外への興味 | 10. 退職・高齢 | 11. その他（具体的に |) |

問 9) 歯科衛生士として復職したいと考えていますか（○印は1つ）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. すぐにでも復職したい | 2. 条件が合えば復職したい |
| 3. 復職研修が受講できれば復職したい | 4. そのつもりはない |
| 5. わからない | |

問 10) 復職に際して、関心がある分野・職域は何ですか。（あてはまるもの全てに○印）

- | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|--------------|------------------|
| 1. 診療所 | 2. 病院 | 3. 診療補助業務 | 4. 予防処置・指導業務 | 5. 要介護者への専門的口腔ケア |
| 6. 在宅歯科医療 | 7. 地域歯科保健 | 8. その他（具体的に |) | |

問 11) 歯科衛生士として復職する場合、どのようにして就職先を探しますか。（あてはまるもの全てに○印）

- | | | |
|------------|---------------------------|------------------------|
| 1. ハローワーク | 2. 求人誌（雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む） | 3. 友人・知人からの紹介 |
| 4. 出身学校の紹介 | 5. インターネット | 6. 歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介 |
| 7. 人材派遣会社 | 8. その他（具体的に |) |

問 12) 復職するための研修を希望しますか。（○印は1つ）

- | | |
|-------|----------------|
| 1. する | 2. しない →「問17」へ |
|-------|----------------|

問 12-1) どのような内容の研修を希望しますか。最も希望するものに◎印（1つ）、希望するものに○印（いくつでも）をつけてください。（◎印は1つ、○印はいくつでも）

- | | | |
|---------------------|--------------------------|------------------|
| <u>歯科診療補助分野</u> | | |
| 1. 歯科材料取扱法 | 2. 患者対面行為（バキューム・ラバーダムほか） | 3. 暫間被覆冠（TeC）作製法 |
| 4. エックス線撮影法（デジタル撮影） | 5. ホワイトニング | 6. インプラント |
| 7. 感染予防法 | | |
| <u>歯科予防処置分野</u> | | |
| 8. フッ化物歯面塗布法 | 9. フッ化物洗口法 | 10. 小窩裂溝充填法 |
| 11. 歯周組織検査法 | | |
| 12. スケーリング法 | 13. SRP | 14. シャープニング |
| 15. PMTC | | |
| <u>歯科保健指導分野</u> | | |
| 16. 食育支援 | 17. 禁煙支援 | 18. 専門的口腔ケア |
| 19. 摂食嚥下リハビリテーション | | |
| 20. その他（ |) | |

問 13) あなたが歯科衛生士として復職する際、障害になることはありますか。（○印は1つ）

- | | |
|-------|---------------|
| 1. ある | 2. ない →「問17」へ |
|-------|---------------|

問 13-1) それはどのようなことですか。（○印は3つまで）

- | | | | |
|--------------|---------|----------------|----------------|
| 1. 給与・待遇の面 | 2. 勤務時間 | 3. ブランクがあるので不安 | 4. 新しい技術がわからない |
| 5. 相談窓口がない | 6. 育児 | 7. 高齢のため | 8. 勤務地 |
| 9. 介護する家族がいる | | | |
| 10. その他（ |) | | |

問 14) 今後、歯科衛生士として復職するとした場合、どのような雇用形態を希望しますか。（○印は1つ）

- | | | | |
|--------------|--------|---------|---|
| 1. 常勤（フルタイム） | 2. パート | 3. その他（ |) |
|--------------|--------|---------|---|

問 15) 今後、歯科衛生士として復職するとした場合、重要視する内容はどれですか。（あてはまるもの全てに○印）

- | | | | |
|-----------------------|-------------------|-------------|---|
| 1. 歯科医師の人柄・専門性 | 2. 歯科医院の方針・規模・診療科 | 3. 職場の雰囲気 | |
| 4. 歯科衛生士の構成（人数・年齢層など） | 5. 給与について | 6. 諸手当・退職金等 | |
| 7. 雇用形態・勤務時間 | 8. 社会保険加入の有無 | 9. その他（ |) |

問 16) 歯科衛生士として働いていた最終勤務先を退職してから、およそ何年になりますか。

約 年

問 17) 歯科衛生士の就職、転職、復職について、ご意見やご要望がありましたらご記入下さい。

.....
.....
.....

アンケートは以上です。同封の返信用封筒（切手不要）により、平成27年2月23日までにご返送ください。ご協力ありがとうございました。

資料 2-1-2

歯科技工士有資格者の就業状況と復職支援に関する調査

- ・ 回答にかかる時間はおよそ5分です。
- ・ この調査票に記入された事項については、調査目的以外に用いることは一切にありませんので、事実をありのままご記入ください。
- ・ 平成27年1月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 記入の終わった調査票は、平成27年2月23日までに同封の返信用封筒によりご返送ください。
- ・ 調査票の内容などに不明の点がある場合は、下記担当までご連絡ください。

【調査実施機関・お問い合わせ先】

明倫短期大学 担当：総務課 渡邊 〒950-2086 新潟市西区真砂 3-16-10

☎ ☐025-232-6351 (平日 9:00～17:00) FAX 025-232-6335 e-mail: tyosa@meirin-c.ac.jp

問1) あなたの性別を教えてください。(○印は1つ)

1. 男性 2. 女性

問2) あなたの年齢を教えてください。(○印は1つ)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳以上

問3) 現在の住所地を教えてください。

1. 新潟県 (市・町・村) 2. その他 (県)

問4) 現在、歯科技工士として就業(自営も含む)していますか(○印は1つ)

1. はい 2. いいえ →裏面「問15」へ

問4-1) 現在の主な勤務先の就業状況を教えてください。(○印は1つ)

1. 常勤(フルタイム) 2. 非常勤・パート 3. その他(具体的に)

問5) 現在の仕事にやりがいを感じていますか。(○印は1つ)

1. 非常に感じている 2. ある程度感じている 3. あまり感じていない 4. 全く感じていない

問6) 歯科技工士の仕事の魅力は何ですか。(あてはまるもの全てに○印)

1. 国家資格であり一生続けられる 2. 専門性の高い仕事である 3. 転職・就職に困らない
4. 収入が安定している 5. 人や社会に貢献できる 6. 人の健康を守る仕事である
7. その他(具体的に)

問7) 現在の就業場所は次のどれにあたりますか(○印は1つ)

1. 技工所 2. 診療所 3. 病院・大学病院 4. 障害者歯科診療所等
5. 企業・事業所 6. その他(具体的に)

問8) 現在の職場に最も改善してほしいことに◎印(1つ)、改善してほしいことに○印(いくつでも)をつけてください。(◎印は1つ、○印はいくつでも)

1. 専門性・資格等の評価 2. 教育研修等、レベルアップの機会の充実
3. 医療安全体制の充実 4. 待遇改善(給与引上げ・昇給等)
5. 業務量の軽減 6. 職場の人間関係の改善
7. 労働時間の短縮 8. 休暇の取得 9. 子育ての支援の充実
10. 多様な勤務形態・勤務時間の導入 11. 雇用の安定性の確保 12. 福利厚生の実施
13. その他(具体的に)

問9) 経営者の経験はありますか。(○印は1つ)

1. はい 2. いいえ →「問10」へ

問9-1) 現在、経営者ですか。(○印は1つ)

1. 現在、経営している 2. 現在、経営していない

問10) 1週間の平均勤務日数と、1日の平均勤務時間を教えてください。

- 1週間の平均勤務日数 日 ・ 1日の平均勤務時間 時間

問 11) 歯科技工士の友人等と情報交換をしていますか。(○印は1つ)

1. よくしている	2. たまにしている	3. 全くしていない
-----------	------------	------------

問 12) 歯科技工士として、通算およそ何年くらい働いていますか。

年

問 13) 今後も歯科技工士として働き続けたいと思いますか。(○印は1つ)

1. 思う	2. 思わない →「問 20」へ
-------	------------------

問 14) 歯科技工士として何歳位まで働きたいですか。

歳位まで	→「問 20」へ
------	----------

問 15) 現在、歯科技工士として就業していない理由は何ですか。最もあてはまるものに◎印(1つ)、あてはまるものに○印(いくつでも)をつけてください。(◎印は1つ、○印はいくつでも)

1. 仕事内容への不安	2. 給与・待遇の面	3. 職場の人間関係	4. 家庭の事情
5. 結婚	6. 出産・育児	7. 家族等の介護	8. 自分の健康
9. 歯科以外への興味	10. 退職・高齢	11. その他(具体的に))

問 16) 歯科技工士として復職したいと考えていますか。(○印は1つ)

1. すぐにでも復職したい	2. 条件が合えば復職したい	3. 復職研修が受講できれば復職したい
4. そのつもりはない	5. わからない	

問 17) 歯科技工士として復職する場合、どのようにして就職先を探しますか。(あてはまるもの全てに○印)

1. ハローワーク	2. 求人誌(雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む)	3. 友人・知人からの紹介
4. 出身学校の紹介	5. インターネット	6. 歯科技工士会等の無料職業紹介
7. 人材派遣会社	8. その他(具体的に))

問 18) 復職するための研修を希望しますか。(○印は1つ)

1. する	2. しない →「問 20」へ
-------	-----------------

問 18-1) どのような内容の研修を希望しますか。最も希望するものに◎印(1つ)、希望するものに○印(いくつでも)をつけてください。(◎印は1つ、○印はいくつでも)

1. CAD/CAM	2. 前装冠の製作(ポーセレン・硬質レジン)
3. パーシャルデンチャー(設計、講義、実習)	4. ブリッジ(形態の設計、講義、実習)
5. 新しい前装冠材料(ジルコニア、プレス材料)	6. 作業模型の製作
7. その他()

問 19) あなたが歯科技工士として復職する際、障害になることはありますか。(○印は1つ)

1. ある	2. ない →「問 20」へ
-------	----------------

問 19-1) それはどのようなことですか。(○印は3つまで)

1. 給与・待遇の面	2. 勤務時間	3. ブランクがあるので不安	4. 新しい技術がわからない	
5. 相談窓口がない	6. 育児	7. 高齢のため	8. 勤務地	9. 介護する家族がいる
10. その他()			

問 20) 歯科技工士の就職、転職、復職について、ご意見やご要望がありましたらご記入下さい。

.....

アンケートは以上です。同封の返信用封筒(切手不要)により、平成27年2月23日までにご返送ください。ご協力ありがとうございました。

資料 2-2-1

調査集計結果（歯科衛生士）

1. 年齢

年齢を全体で見ると、「20歳代」が 25.6%、「30歳代」が 24.0%、「40歳代」が 27.4%、「50歳代」が 14.8%、「60歳以上」が 8.0%であり、全体としては 40歳代が最も高く、次いで、20歳代と 30歳代が拮抗している（図 1）。

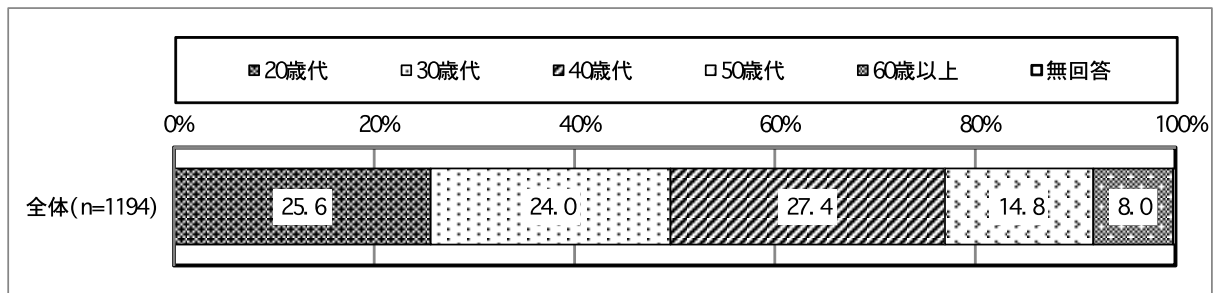


図 1 年齢

2. 現在の住居地

現在の住居地を全体で見ると、「県内」が 95.0%、「県外」が 4.7%であり、県内でも、新潟市内が 45.8%を占めている（図 2）。

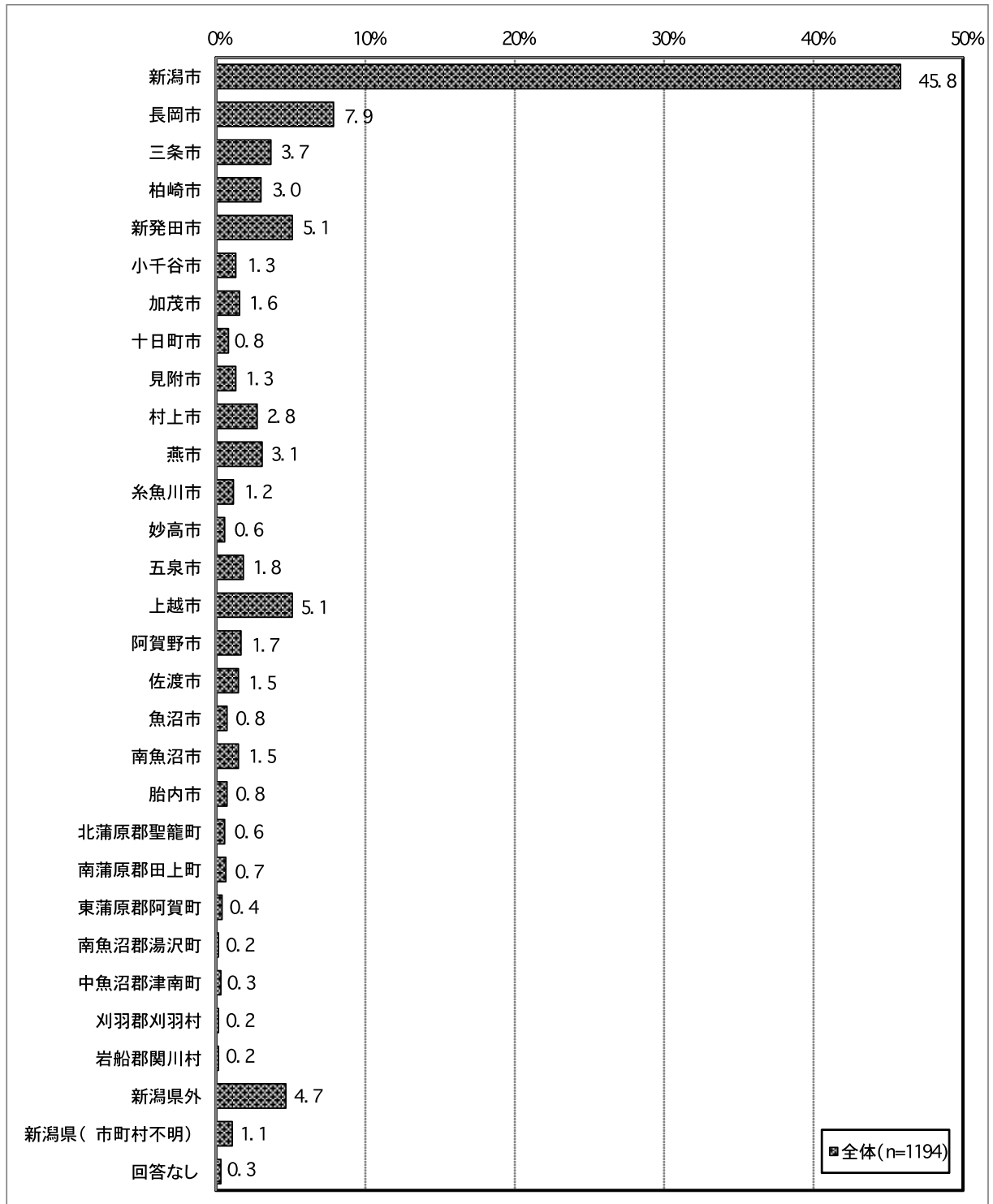


図 2 現在の住居地

3. 歯科衛生士として就業の有無

歯科衛生士としての就業の有無を全体で見ると、「就業している」が 65.1%、「就業していない」が 34.9%であり、6 割強が就業している。

年代別で見ると、「就業している」では、「20 歳代」が 75.8%、「30 歳代」が 67.5%、「40 歳代」が 69.4%、「50 歳代」が 57.6%、「60 歳以上」が 24.2%である（図 3）。

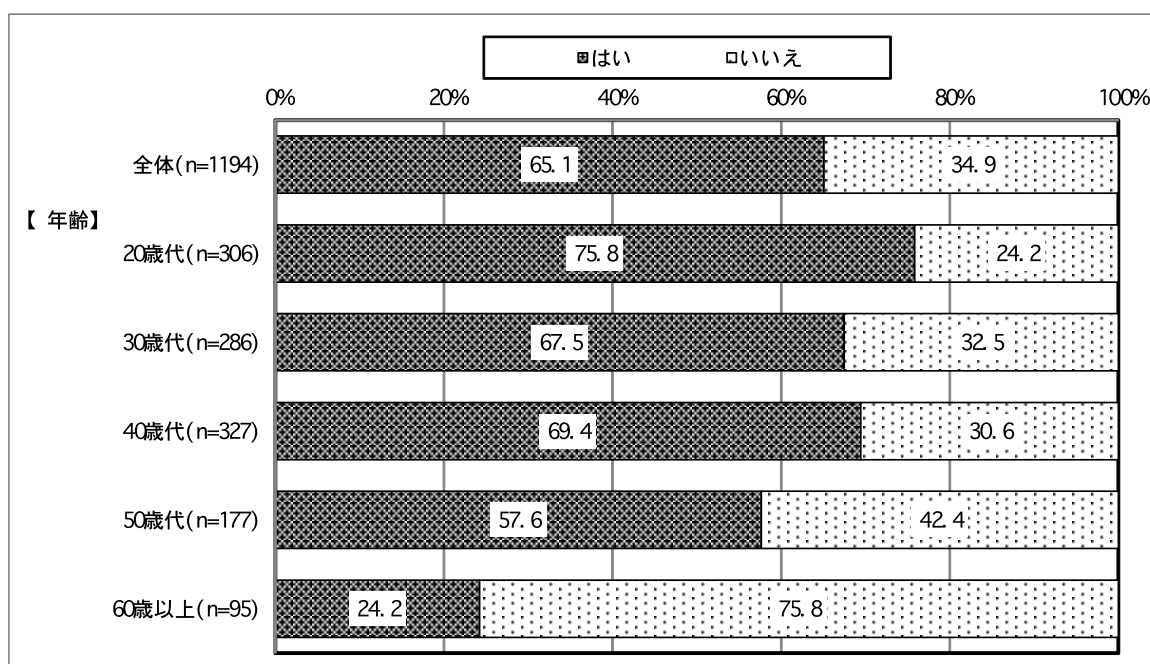


図 3 歯科衛生士として就業の有無

4. 現在の主な勤務先の就業状況

現在の主な勤務先の就業状況を全体で見ると、「常勤（フルタイム）」が 69.0%、「非常勤・パート」が 28.2%、「その他」が 2.1%である。

年代別で見ると、「20 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 89.7%、「非常勤・パート」が 8.2%、「その他」が 1.3%、「30 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 66.3%、「非常勤・パート」が 30.6%、「その他」が 1.6%、「40 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 59.0%、「非常勤・パート」が 38.8%、「その他」が 1.8%、「50 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 56.9%、「非常勤・パート」が 41.2%、「その他」が 2.0%、「60 歳以上」では、「常勤（フルタイム）」が 34.8%、「非常勤・パート」が 47.8%、「その他」が 17.4%であり、「常勤（フルタイム）」に関してみると年齢が増すにつれて常勤率は減少し、「非常勤・パート」は、増加する傾向になっている（図 4）。

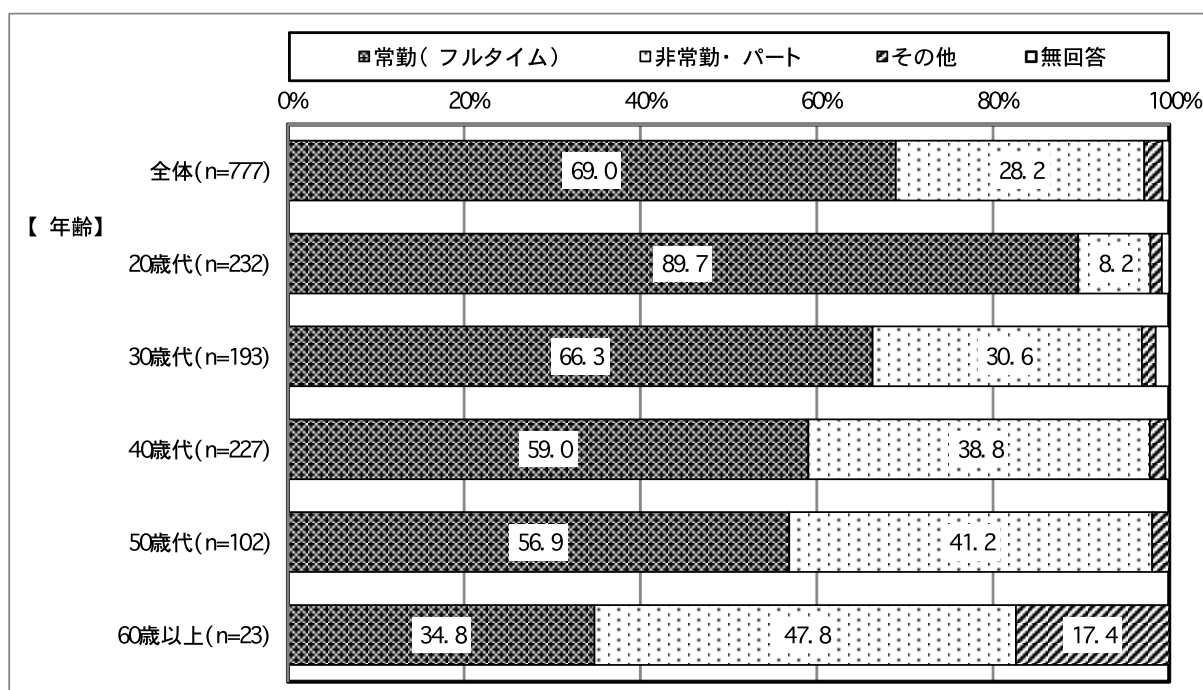


図 4 現在の主な勤務先の就業状況

5. 現在の仕事のやりがい

現在の仕事のやりがいを全体でみると、「非常に感じている」が 20.5%、「ある程度感じている」が 67.1%で、「非常に感じている+ある程度感じている」=『感じている』が 87.5%、「あまり感じていない」が 10.4%、「全く感じていない」が 1.2%、「あまり感じていない+全く感じていない」=『感じていない』が 11.6%であり、9割弱がやりがいを感じていることがわかる。

年代別でみると、「20歳代」では、『感じている』が 83.2%、『感じていない』が 16.4%、「30歳代」では、『感じている』が 87.6%、『感じていない』が 11.9%、「40歳代」では、『感じている』が 89.4%、『感じていない』が 8.8%、「50歳代」では、『感じている』が 91.2%、『感じていない』が 7.8%、「60歳以上」では、『感じている』が 95.7%、『感じていない』が 4.3%であり、年齢が高くなるにつれてやりがいを感じる割合が高くなる傾向である（図5）。

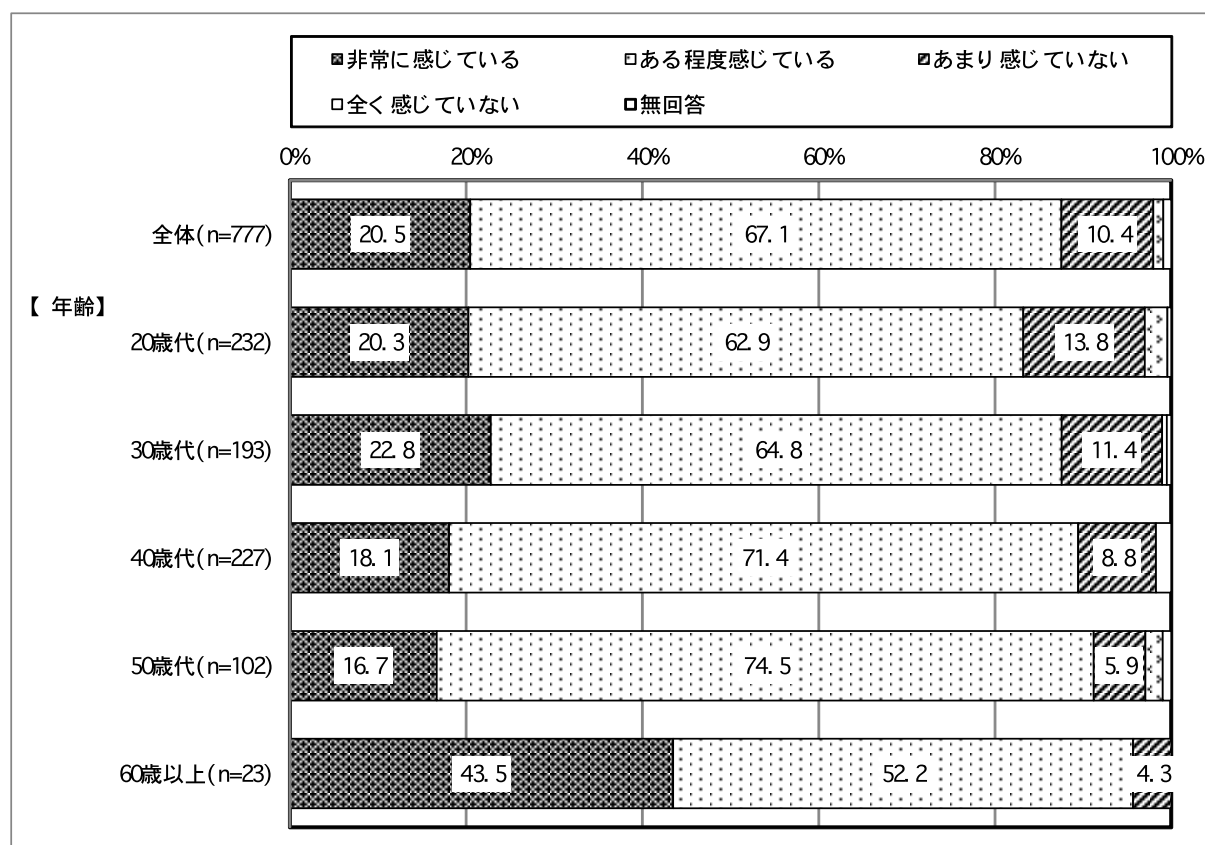


図5 現在の仕事のやりがい

6. 歯科衛生士の仕事の魅力

歯科衛生士の仕事の魅力を全体でみると、「国家資格であり一生続けられる」が 62.3%、「専門性の高い仕事である」が 56.5%、「人の健康を守る仕事である」が 51.7%、「人や社会に貢献できる」が 35.8%、「転職・就職に困らない」が 33.5%、「収入が安定している」が 13.9%、「その他」が 2.1%であり、「国家資格であり一生続けられる」、「専門性の高い仕事である」、「人の健康を守る仕事である」が 5 割を超えている（図 6）。

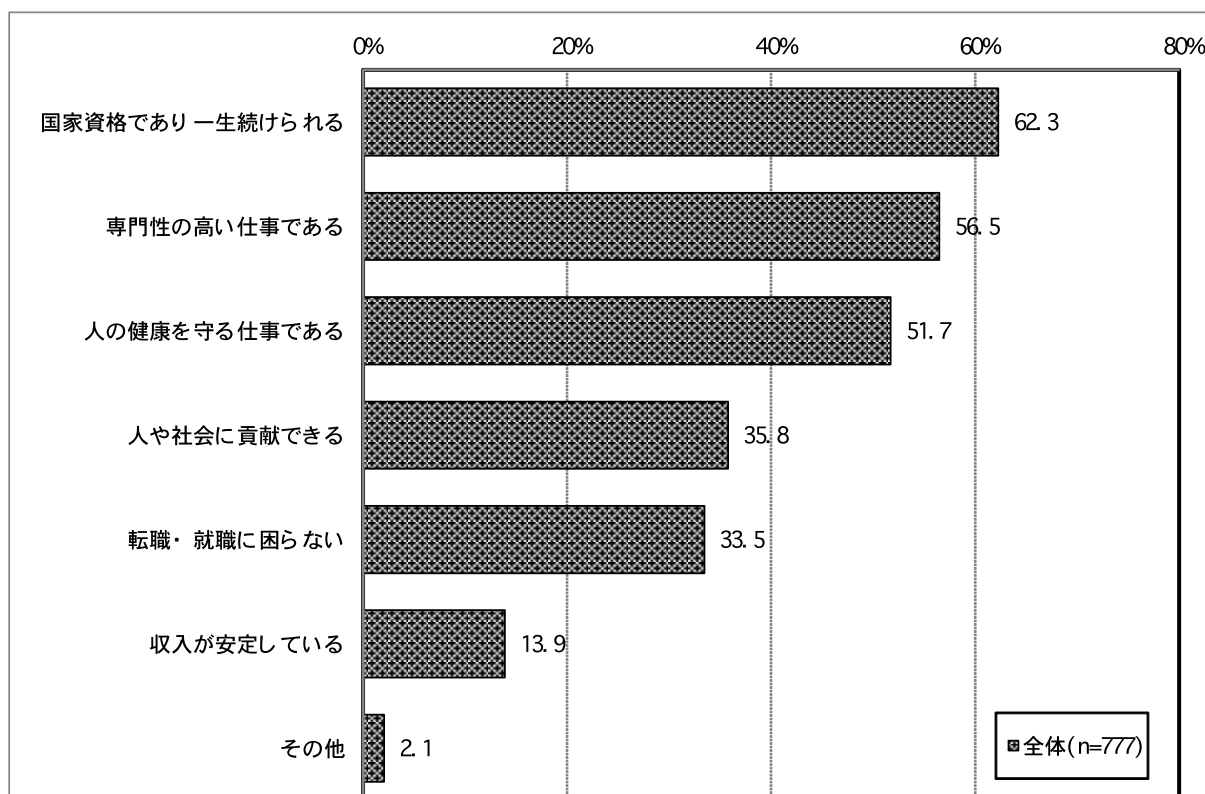


図 6 歯科衛生士の仕事の魅力（複数回答）

7. 現在の職場に改善してほしいこと

現在の職場に改善してほしいことを全体でみると、「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」が62.9%、「休暇の取得」が38.7%、「労働時間の短縮」、「福利厚生の充実」がともに25.7%、「子育ての支援の充実」が25.1%、「専門性・資格等の評価」が23.2%、「業務量の軽減」が21.4%、「教育研修等、レベルアップの機会の充実」が18.4%、「医療安全体制の充実」が16.6%、「職場の人間関係の改善」が15.8%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が15.3%、「雇用の安定性の確保」が13.4%、「その他」が7.2%であり、最も改善希望が多いのは「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」で6割を超えている（図7）。

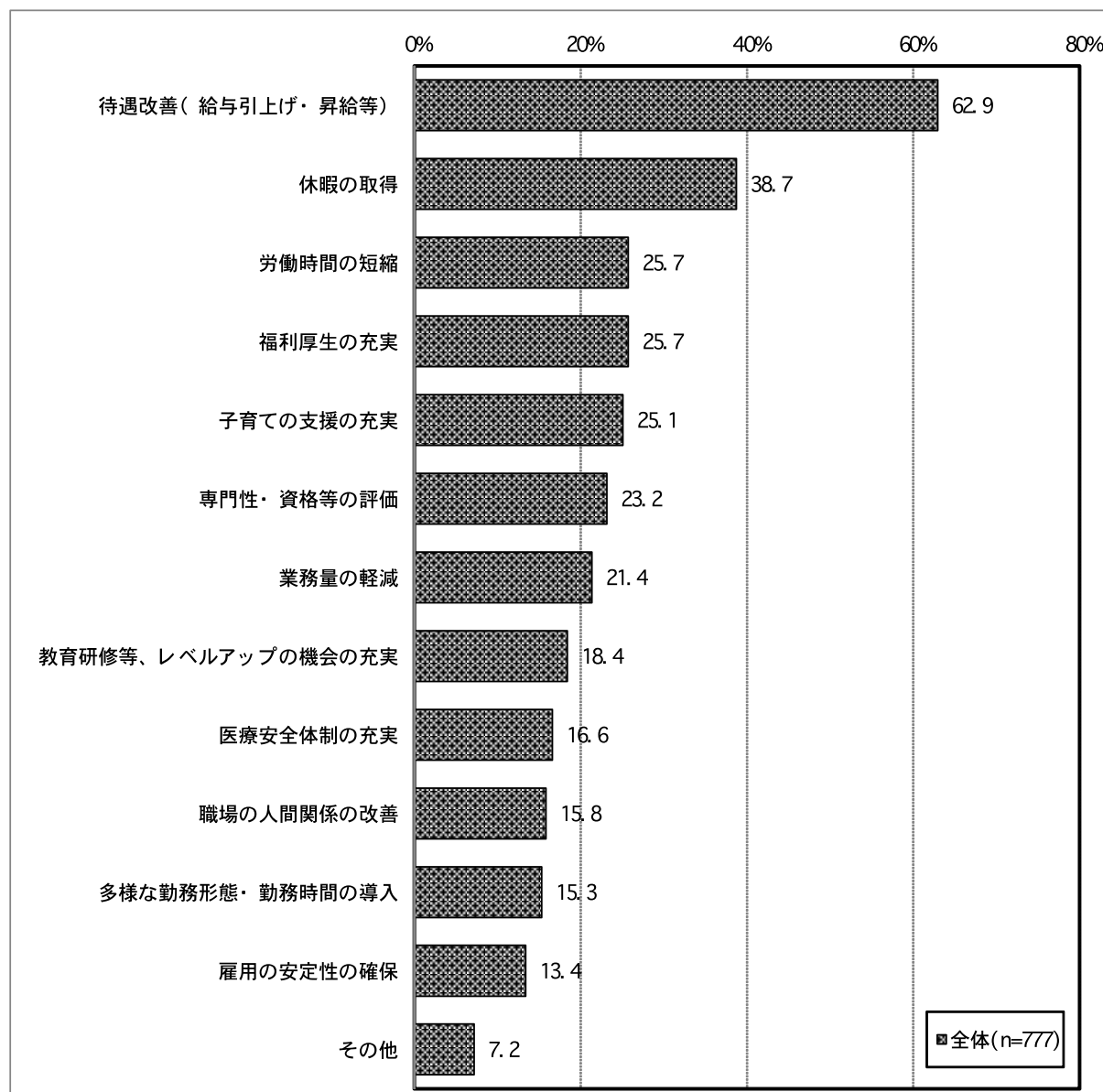


図7 現在の職場に改善してほしいこと（複数回答）

8. 現在の職場に最も改善してほしいこと

現在の職場に最も改善してほしいことを全体でみると、「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」が 36.4%、「休暇の取得」が 10.5%、「労働時間の短縮」が 8.1%、「教育研修等、レベルアップの機会の充実」が 6.3%、「専門性・資格等の評価」、「業務量の軽減」がともに 5.3%、「職場の人間関係の改善」が 4.9%、「福利厚生 の充実」が 4.8%、「子育ての支援の充実」が 4.1%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が 4.0%、「雇用の安定性の確保」が 3.6%、「医療安全体制の充実」が 3.5%、「その他」が 4.1%である（図 8）。

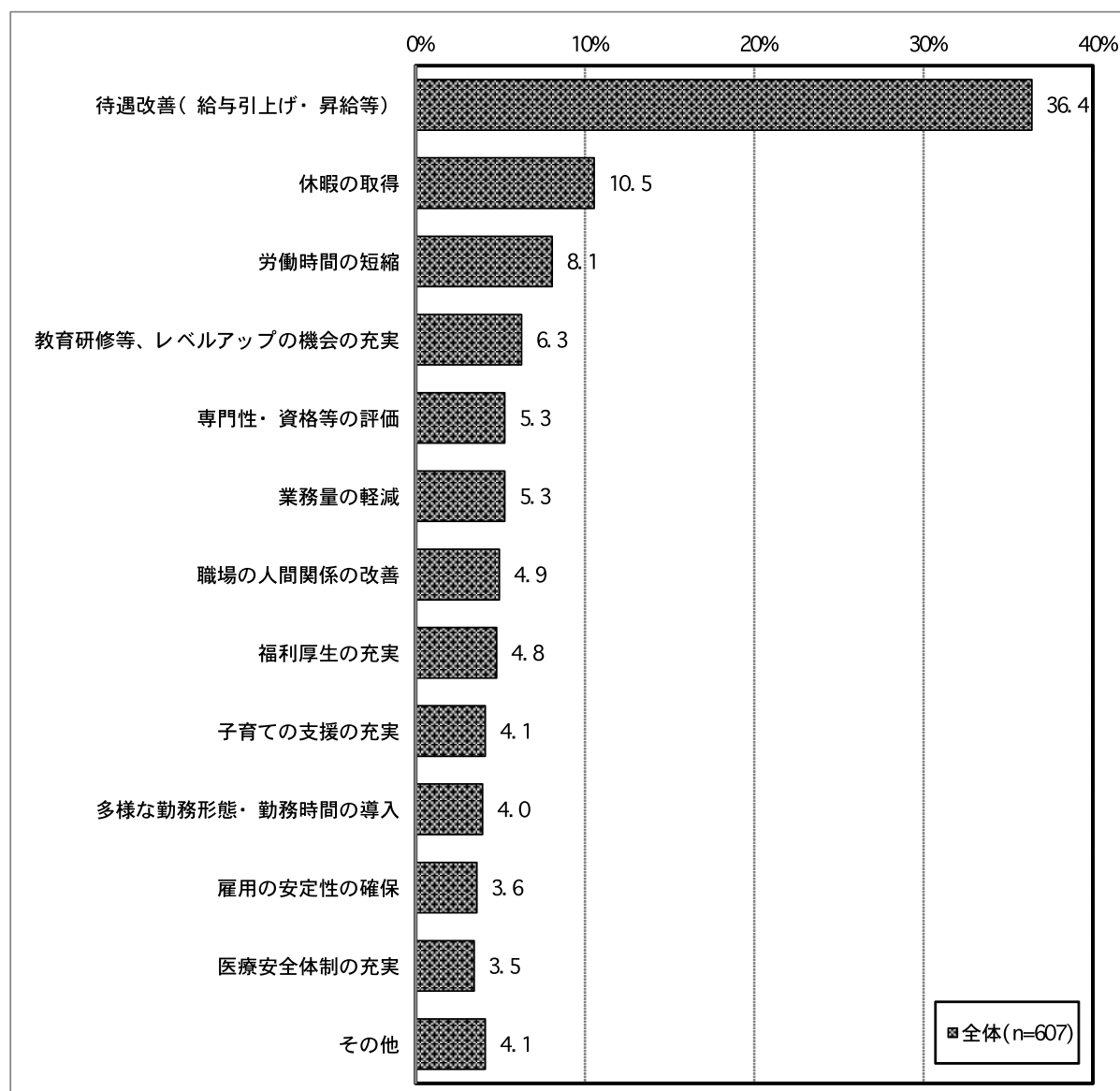


図 8 現在の職場に最も改善してほしいこと（複数回答）

9. 今後も歯科衛生士として働き続けたいと思うか

今後も歯科衛生士として働き続けたいと思うかを全体でみると、「思う」が 93.3%、「思わない」が 6.6%であり、「思う」が 9 割以上で、ほとんどが働き続けたい意向を持っている。

年代別でみると、「思う」では、「20 歳代」が 87.5%、「30 歳代」が 96.9%、「40 歳代」が 95.2%、「50 歳代」が 97.1%、「60 歳以上」が 87.0%であり、60 歳以上になるとやや減少するが大きな差異ではないとみられる（図 9）。

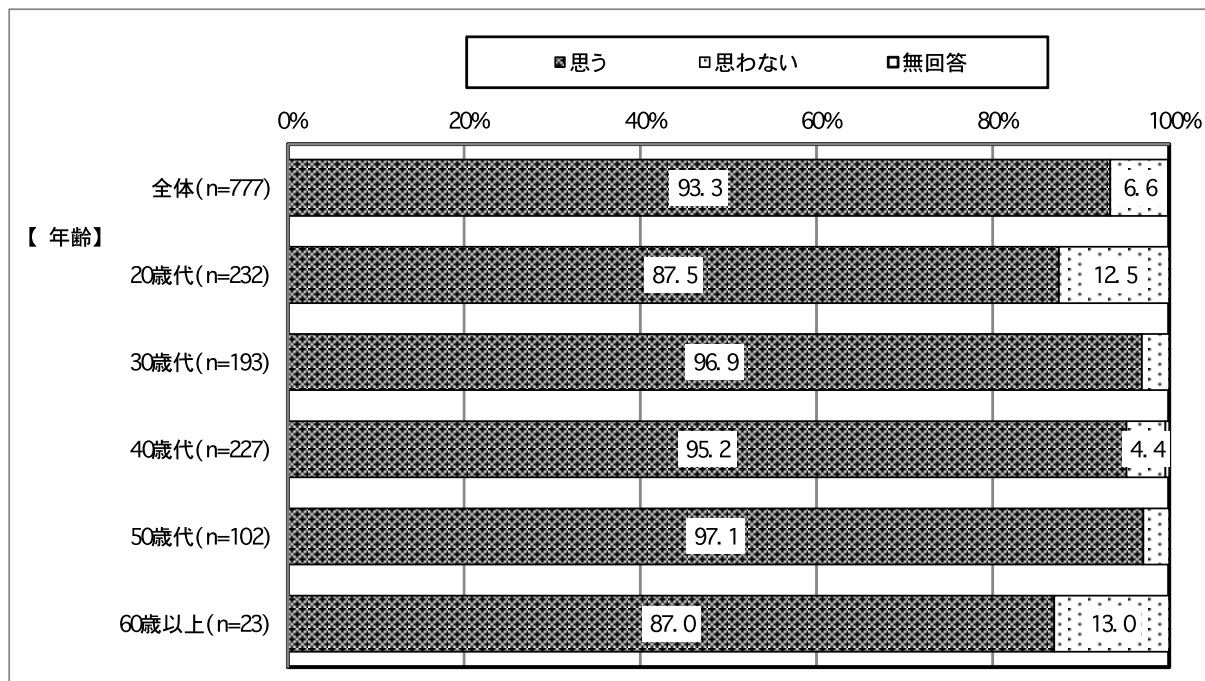


図 9 今後も歯科衛生士として働き続けたいと思うか

10. 関心がある分野・職域

関心がある分野・職域を全体でみると、「病院」が42.8%、「診療所」が42.2%、「市町村（保健センター等）」が28.6%、「在宅歯科医療」が24.6%、「介護施設・障害者施設」が23.0%、「保健所・都道府県行政」が22.5%、「地域歯科保健」が18.6%、「事業所等の健康管理部門」が12.8%、「歯科衛生士養成機関」が8.3%、「障害者歯科」が5.9%、「その他」が1.4%であり、関心がある分野や職域は「診療所」、「病院」が4割強と最も高く、次いで「市町村（保健センター等）」である（図10）。

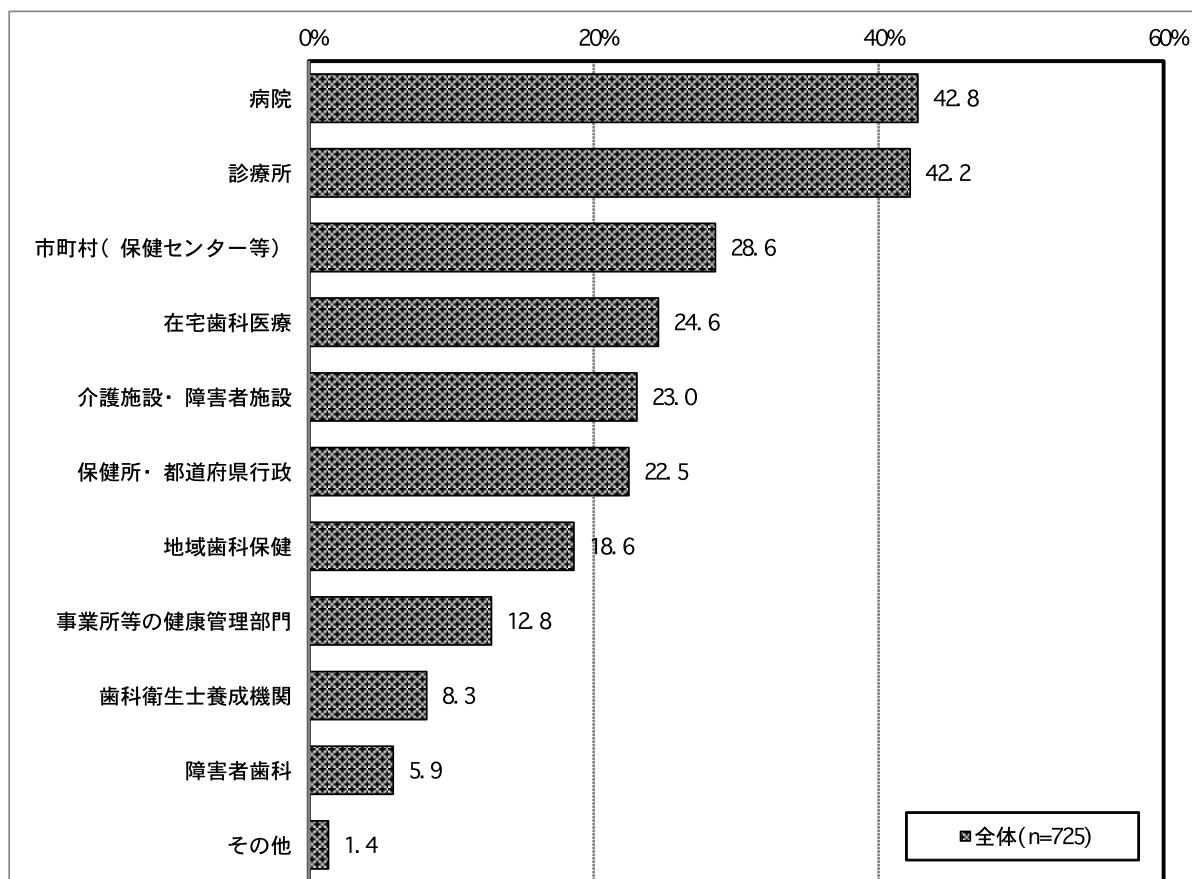


図10 関心がある分野・職域（複数回答）

11. 歯科衛生士として何歳位まで働きたいか

歯科衛生士として何歳位まで働きたいかを全体で見ると、「50歳未満」が16.6%、「50歳以上60歳未満」が25.7%、「60歳以上70歳未満」が47.2%、「70歳以上」が1.8%、「可能な限り」が2.8%であり、平均は54.6歳である。

年代別を平均で見ると、「20歳代」が46.7歳、「30歳代」が54.5歳、「40歳代」が58.1歳、「50歳代」が61.0歳、「60歳以上」が68.1歳である（図11）。

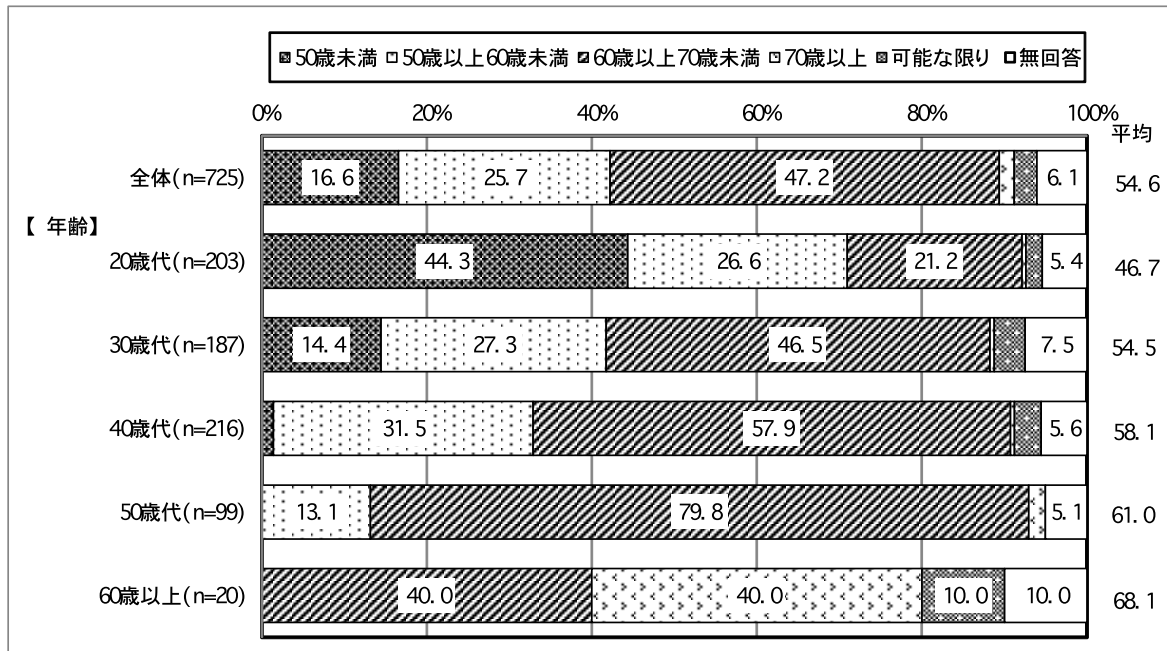


図11 歯科衛生士として何歳位まで働きたいか

12. 現在、歯科衛生士として就業していない理由

現在、歯科衛生士として就業していない理由を全体でみると、「仕事内容への不安」、「出産・育児」がともに 27.3%、「歯科以外への興味」が 26.6%、「給与・待遇の面」が 25.7%、「家庭の事情」が 22.3%、「退職・高齢」が 18.9%、「職場の人間関係」が 17.7%、「自分の健康」が 12.5%、「結婚」が 11.5%、「介護」が 7.4%、「その他」が 19.9%であり、主な理由は、「仕事内容への不安」、「出産・育児」、「歯科以外への興味」、「給与・待遇の面」の順であった（図 12）。

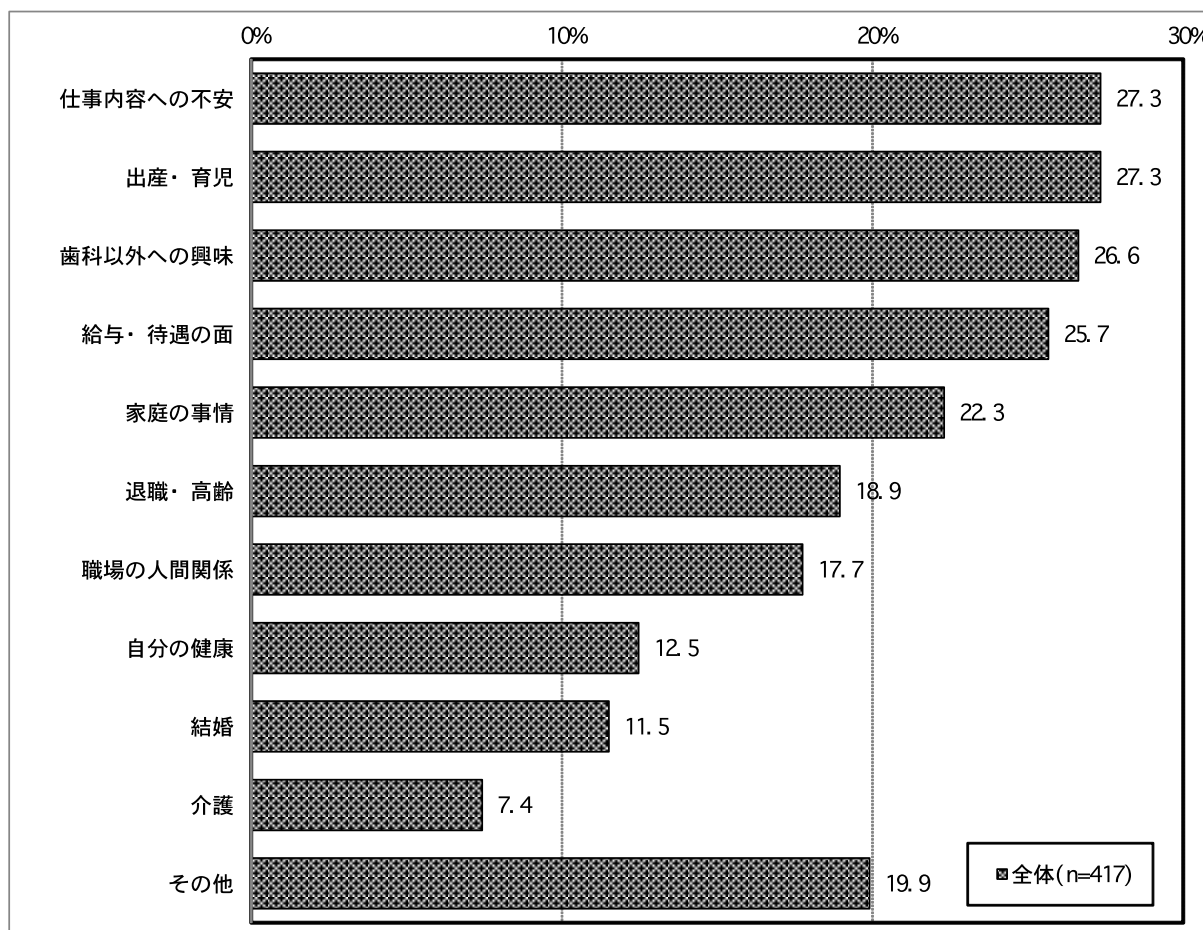


図 1 2 現在、歯科衛生士として就業していない理由（複数回答）

13. 現在、歯科衛生士として就業していない最も主な理由

現在、歯科衛生士として就業していない最も主な理由を全体でみると、「出産・育児」が 19.0%、「退職・高齢」が 12.4%、「家庭の事情」が 11.1%、「歯科以外への興味」が 10.0%、「仕事内容への不安」が 7.7%、「給与・待遇の面」が 7.1%、「職場の人間関係」、「結婚」がともに 5.3%、「介護」が 4.0%、「自分の健康」が 3.2%、「その他」が 15.0%であり、最も主な理由で多いのは、「出産・育児」である(図 13)。

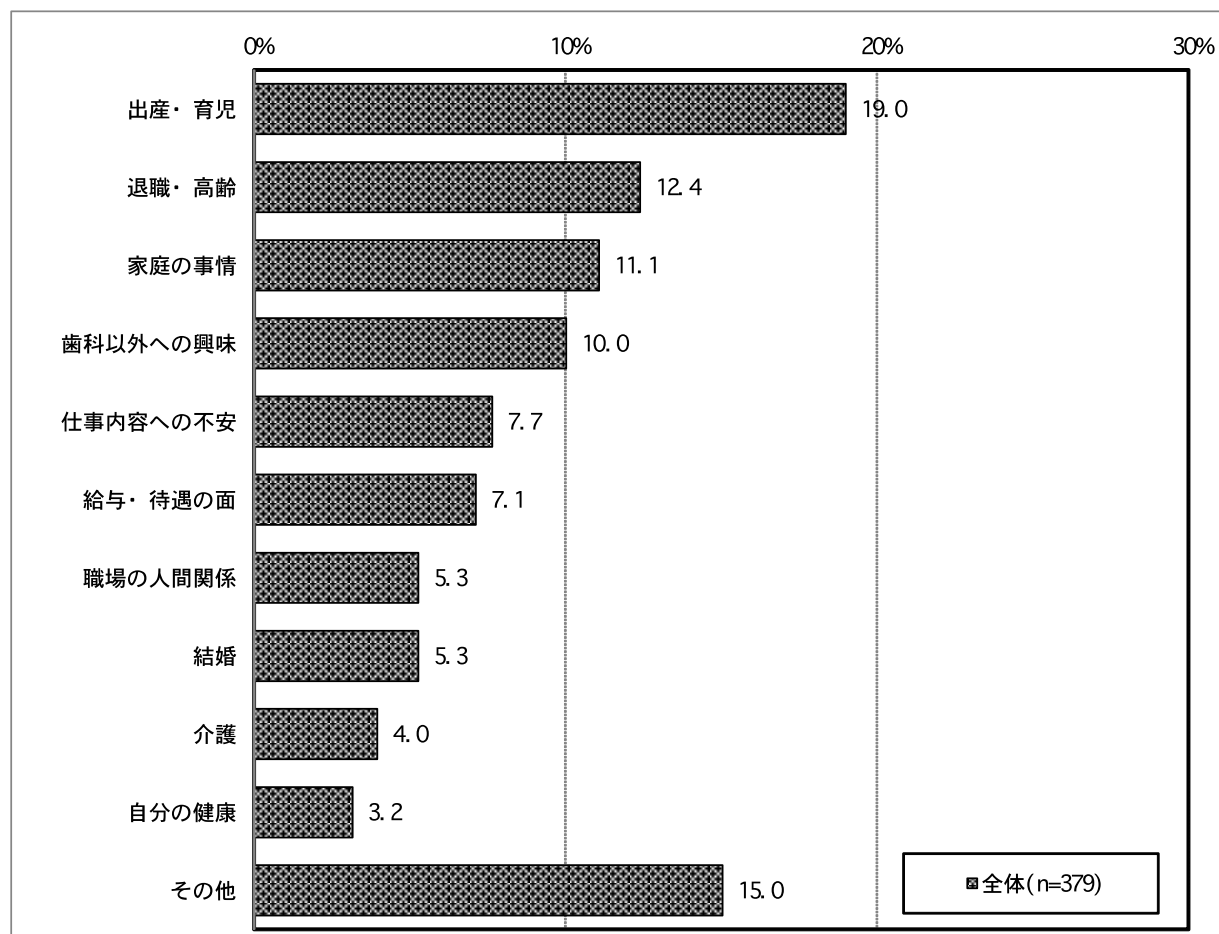


図 13 現在、歯科衛生士として就業していない最も主な理由

14. 歯科衛生士として復職したいと考えているか

歯科衛生士として復職したいと考えているかを全体で見ると、「そのつもりはない」が 39.6%、「条件が合えば復職したい」が 31.9%、「わからない」が 21.8%、「復職研修が受講できれば復職したい」が 4.6%、「すぐにでも復職したい」が 1.9%であり、復職への希望は諸条件を考慮して復職しても良いと考えているのは 33.8%であった。しかし、「わからない」が 21.8%でどう解釈するかによるかであるが、この考えを含めると 6 割程度が潜在的な復職の可能性を持っている可能性がある（図 14）。

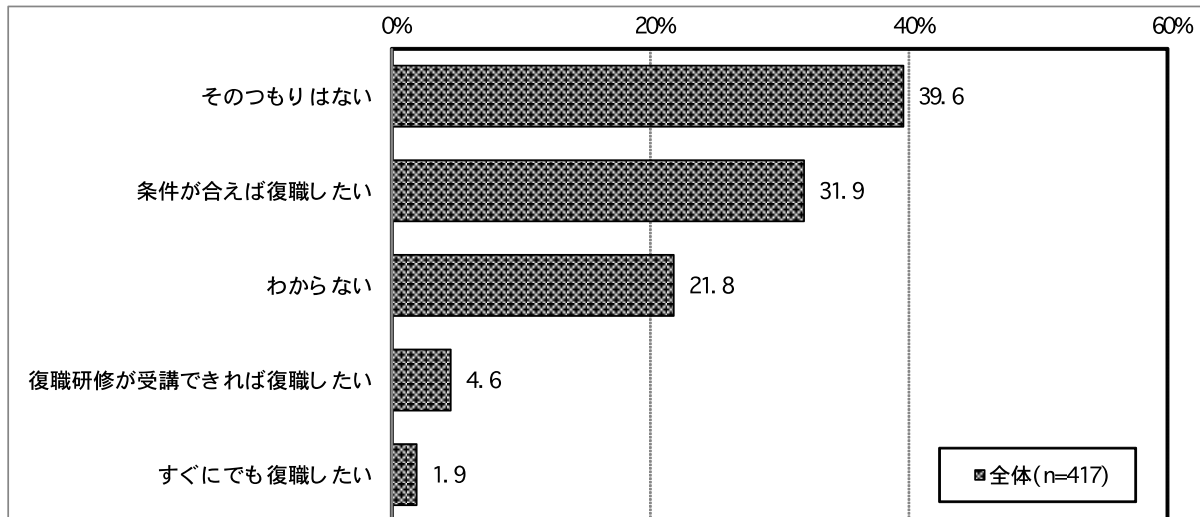


図 14 歯科衛生士として復職したいと考えているか

15. 復職に際して、関心がある分野・職域

復職に際して、関心がある分野・職域を全体でみると、「要介護者への専門的口腔ケア」が 26.1%、「診療所」が 25.4%、「地域歯科保健」が 25.2%、「予防処置・指導業務」が 24.9%、「病院」が 21.6%、「診療補助業務」、「在宅歯科医療」がともに 17.7%、「その他」が 3.4%であり、「要介護者への専門的口腔ケア」、「診療所」、「地域歯科保健」が比較的高い割合を示している（図 15）。

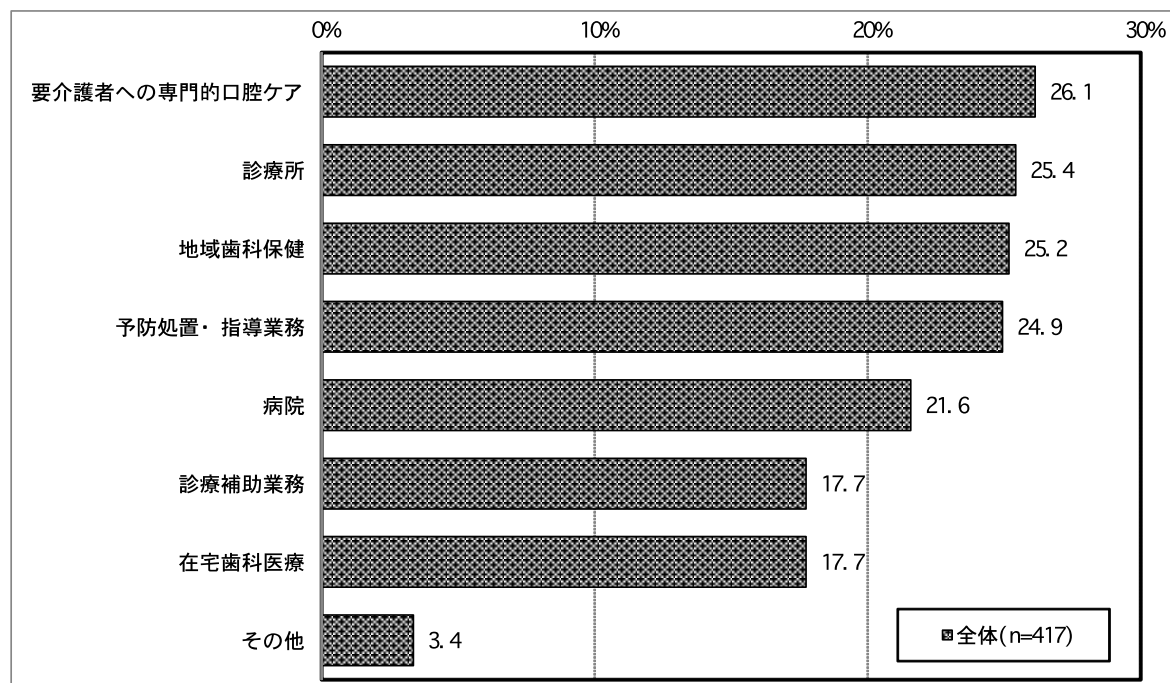


図 15 復職に際して、関心のある分野・職域（複数回答）

16. 歯科衛生士として復職する場合の就職先の探し方

歯科衛生士として復職する場合の就職先の探し方を全体でみると、「ハローワーク」が 62.4%、「求人誌（雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む）」が 29.0%、「友人・知人からの紹介」、「インターネット」がともに 20.1%、「出身学校の紹介」が 9.1%、「歯科医師会・歯科衛生士会の無料職業紹介」が 7.2%、「人材派遣会社」が 1.4%、「その他」が 2.9%であり、「ハローワーク」が 6 割強で最も高くなっている（図 16）。

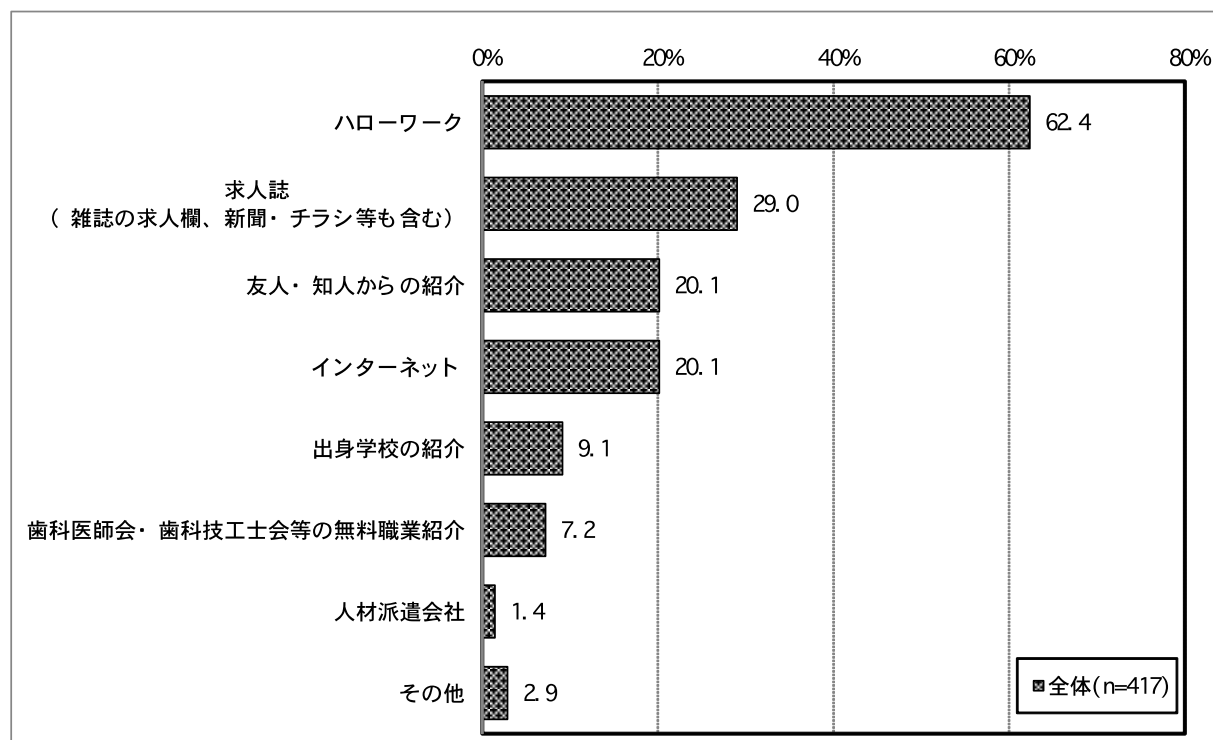


図 16 歯科衛生士として復職する場合の就職先の探し方（複数回答）

17. 復職するための研修希望の有無

復職するための研修希望の有無を全体で見ると、「希望する」が 43.9%、「希望しない」が 46.5%であり、ほぼ拮抗している。

年代別で見ると、「20 歳代」では、「希望する」が 41.9%、「希望しない」が 58.1%、「30 歳代」では、「希望する」が 48.4%、「希望しない」が 49.5%、「40 歳代」では、「希望する」が 52.0%、「希望しない」が 44.0%、「50 歳代」では、「希望する」が 49.3%、「希望しない」が 40.0%、「60 歳以上」では、「希望する」が 22.2%、「希望しない」が 43.1%であり、このことから、各年代とも(60 歳以上を除く)大きな差異はみられないが、「20 歳代」がやや「研修の希望」の割合が低くなっている (図 17)。

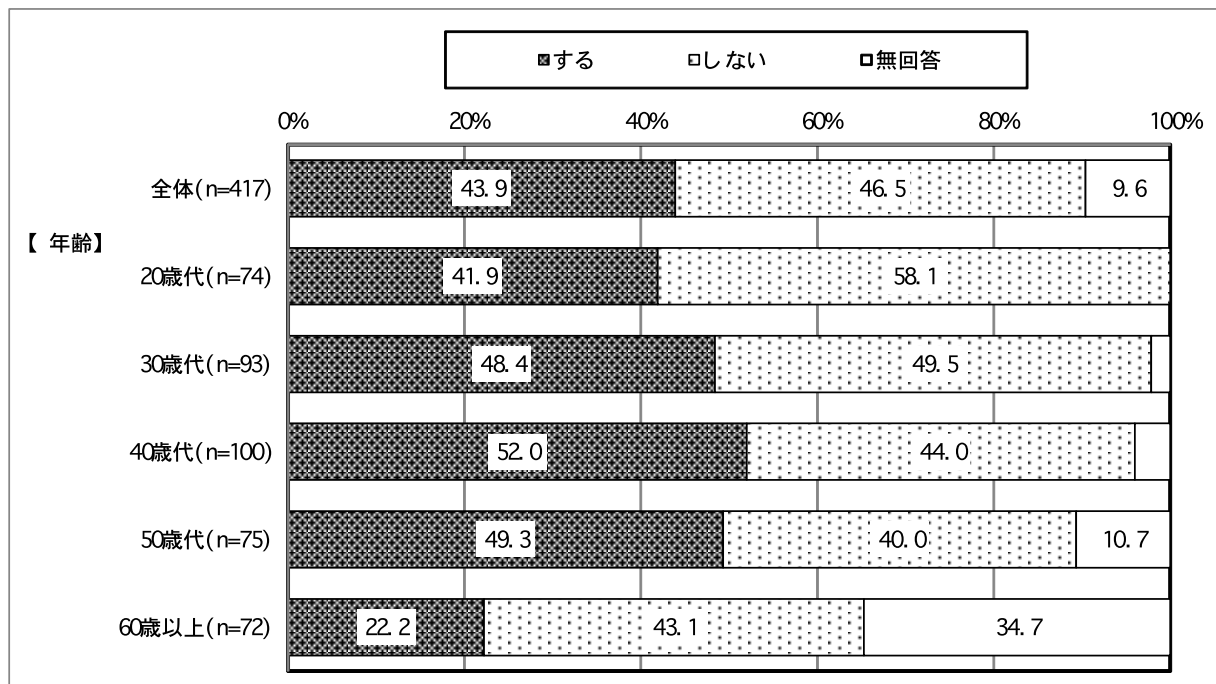


図 17 復職するための研修希望の有無

18. 復職するために希望する研修内容

復職するために希望する研修内容を全体で見ると、「専門的口腔ケア」が 58.5%、「摂食嚥下リハビリテーション」が 53.0%、「歯科材料取扱法」が 36.1%、「食育支援」が 33.9%、「SRP」が 33.3%、「暫間被覆冠 (TeC) 作製法」が 31.1%、「スケーリング法」が 30.6%、「エックス線撮影法 (デジタル撮影)」が 29.0%、「ホワイトニング」、「歯周組織検査法」、「PMTC」がそれぞれ 24.6%、「インプラント」、「シャープニング」がともに 24.0%、「患者対面行為 (バキューム・ラバーダムほか)」、「感染予防法」がともに 21.3%、「禁煙支援」が 20.8%、「小窩裂溝填塞法」が 16.4%、「フッ化物歯面塗布法」が 15.8%、「フッ化物洗口法」が 10.9%、「その他」が 2.7%である (図 18)。

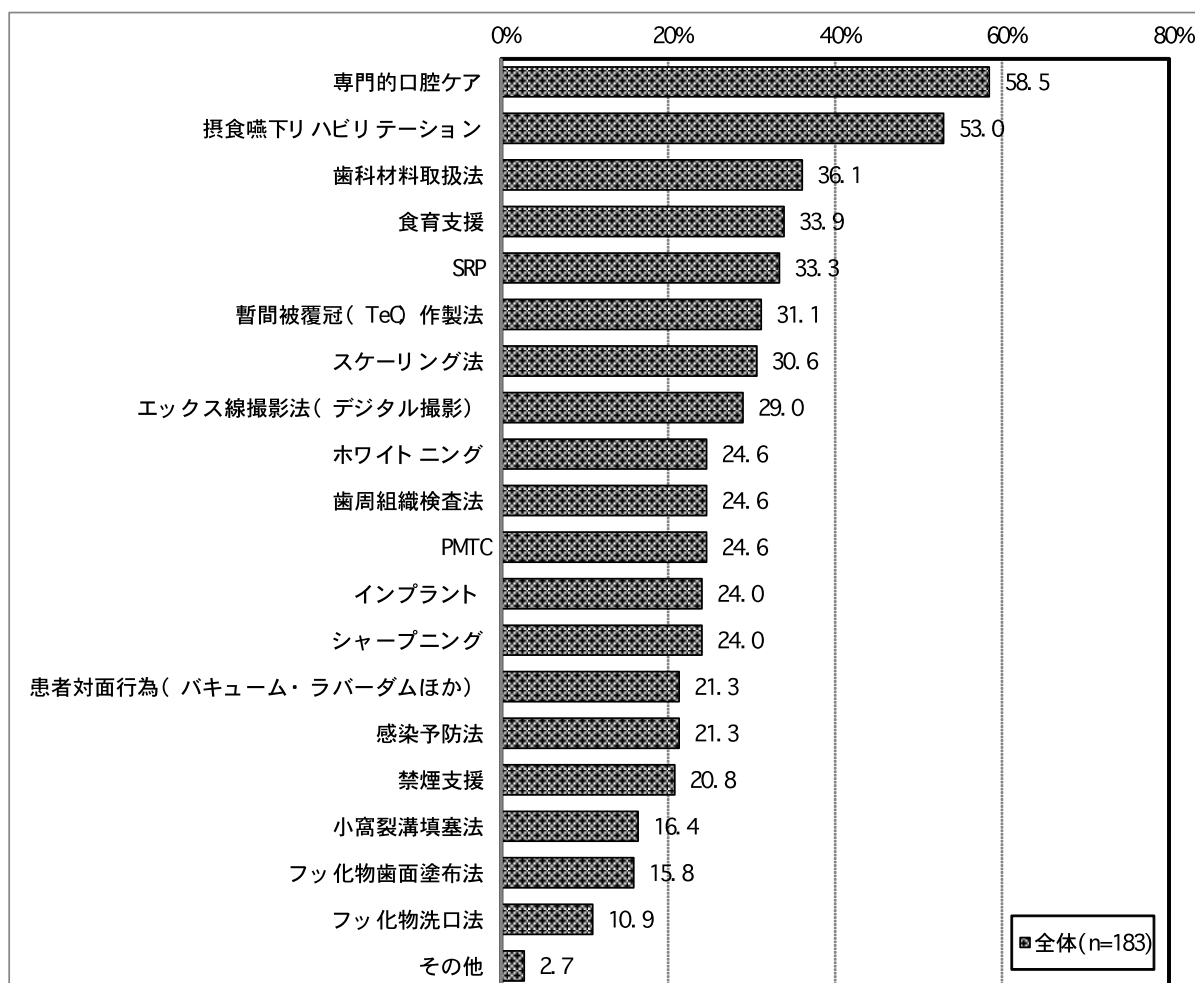


図 18 復職するために希望する研修内容 (複数回答)

19. 復職するために最も希望する研修内容

復職するために最も希望する研修内容を全体でみると、「専門的口腔ケア」が 31.9%、「歯科材料取扱法」が 12.6%、「暫間被覆冠 (TeC) 作製法」、「摂食嚥下リハビリテーション」がともに 11.8%、「スケーリング法」、「SRP」がともに 10.1%、「患者対面行為 (バキューム・ラバーダムほか)」、「感染予防法」がともに 6.7%、「エックス線撮影法 (デジタル撮影)」が 4.2%、「食育支援」が 2.5%、「ホワイトニング」、「歯周組織検査法」、「シャープニング」がそれぞれ 1.7%、「インプラント」、「禁煙支援」がともに 0.8%、「フッ化物歯面塗布法」、「フッ化物洗口法」、「小窩裂溝填塞法」、「PMTC」がそれぞれ 0.0%、「その他」が 2.5%である (図 19)。

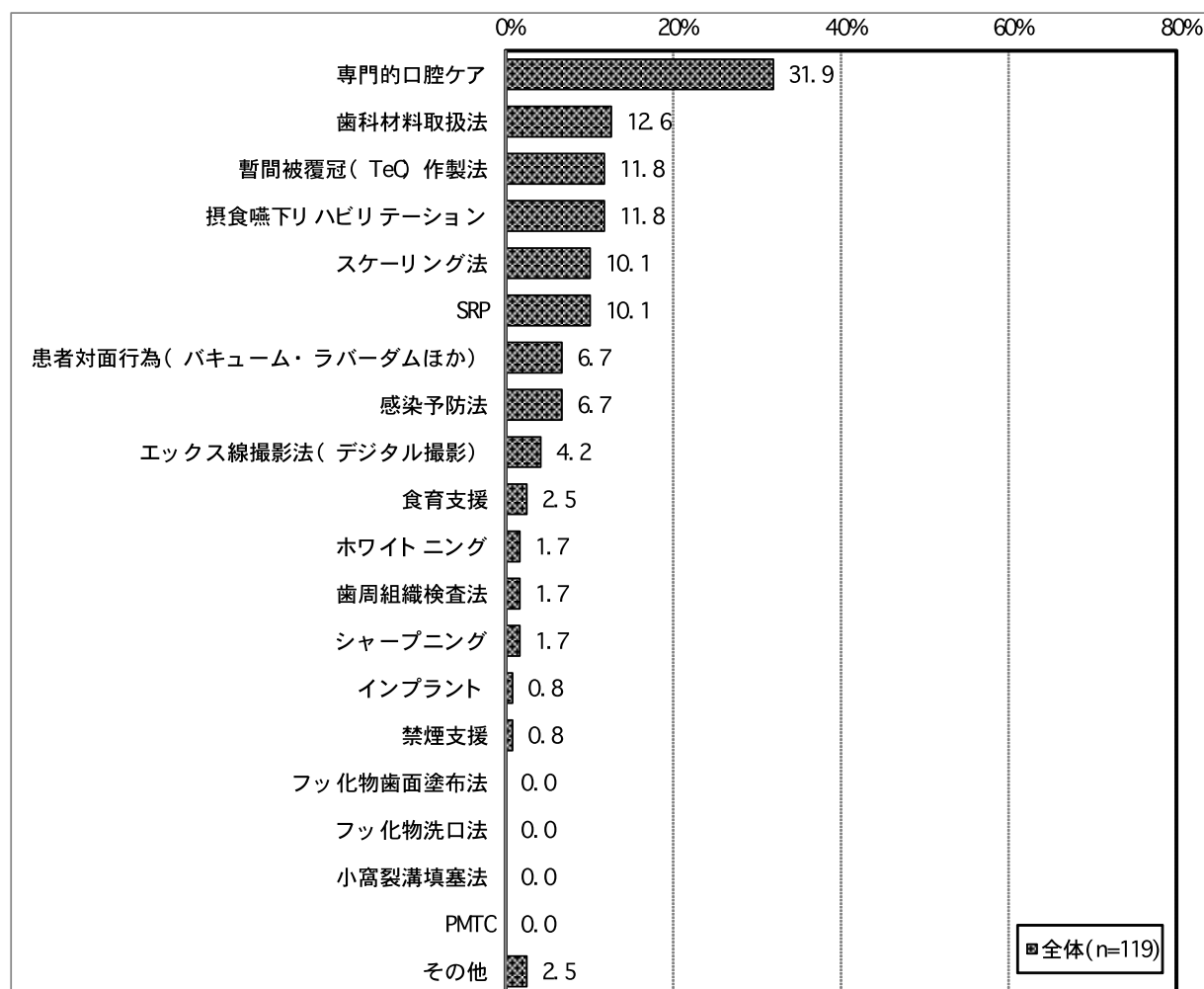


図 19 復職するために最も希望する研修内容

20. 歯科衛生士として復職する際の障害の有無

歯科衛生士として復職する際の障害の有無を全体で見ると、「ある」が96.2%、「ない」が3.3%であり、ほとんど全ての人が「ある」としている。

年代別で見ると、「ある」では、「20歳代」が90.3%、「30歳代」が97.8%、「40歳代」が98.1%、「50歳代」が97.3%、「60歳以上」が93.8%と全ての年代が9割以上を示している（図20）。

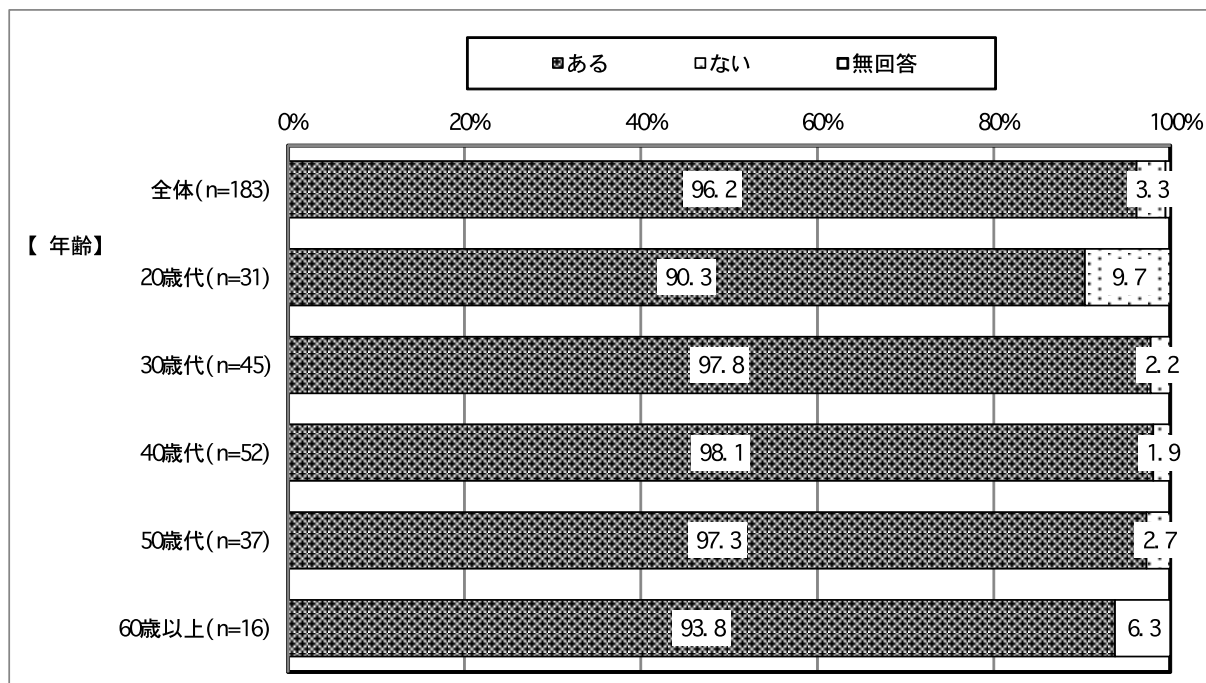


図20 歯科衛生士として復職する際の障害の有無

21. 復職の際に障害になること

復職の際に障害になることを全体でみると、「ブランクがあるので不安」が 67.6%、「勤務時間」が 56.3%、「新しい技術がわからない」が 46.6%、「育児」が 26.7%、「給与・待遇の面」が 16.5%、「高齢のため」が 14.8%、「勤務地」が 9.1%、「介護する家族がいる」が 8.5%、「相談窓口がない」が 5.7%、「その他」が 6.3%である。このことから、「ブランクがあるので不安」、「勤務時間」、「新しい技術がわからない」の3大要素の割合が高い（図 21）。

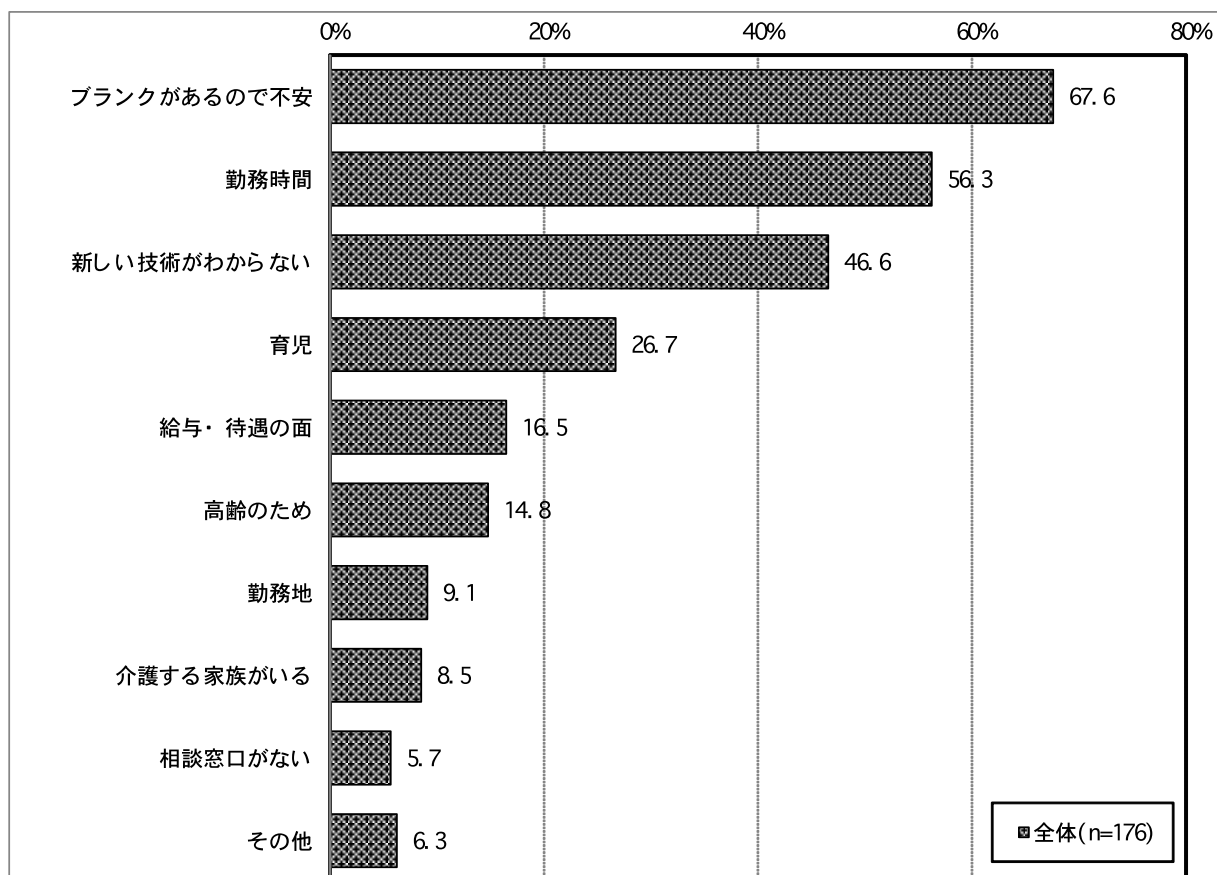


図 2 1 復職の際に障害になること（複数回答）

22. 今後、歯科衛生士として復職するとした場合の希望の雇用形態

今後、歯科衛生士として復職するとした場合の希望の雇用形態を全体でみると、「パート」が 62.5%、「常勤（フルタイム）」が 22.7%、「その他」が 9.1%であり、パートを希望が 6 割である（図 22）。

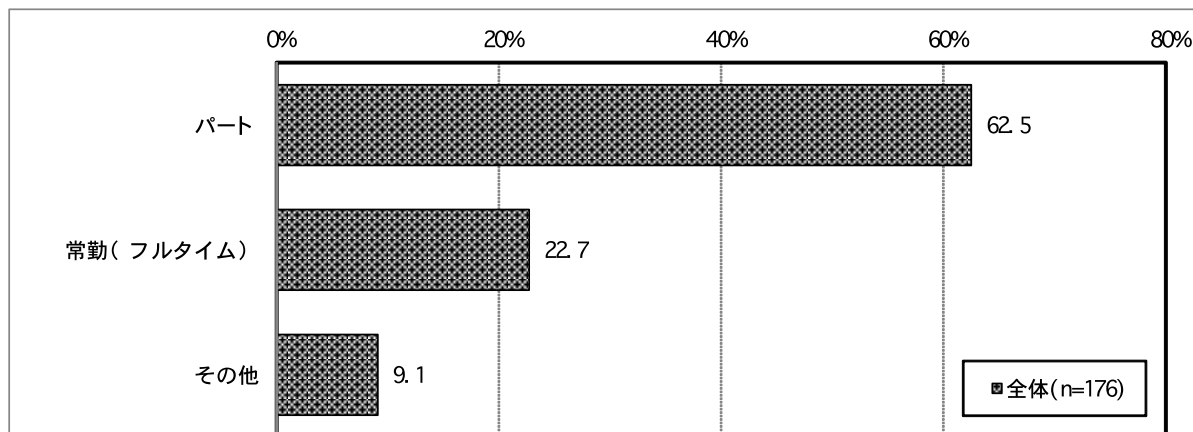


図 2 2 今後、歯科衛生士として復職するとした場合の希望の雇用形態（複数回答）

23. 今後、歯科衛生士として復職するとした場合の重要視する内容

今後、歯科衛生士として復職するとした場合の重要視する内容を全体でみると、「雇用形態・勤務時間」が76.7%、「歯科医師の人柄・専門性」が66.5%、「職場の雰囲気」が65.9%、「歯科医院の方針・規模・診療科」が37.5%、「社会保険加入の有無」が36.4%、「給与について」が35.8%、「歯科衛生士の構成（人数・年齢層など）」が29.5%、「諸手当・退職金等」が22.2%、「その他」が1.7%であり、重要視するのは、「雇用形態・勤務時間」が8割強、「歯科医師の人柄・専門性」と「職場の雰囲気」が6割強を占めていることがわかった（図23）。

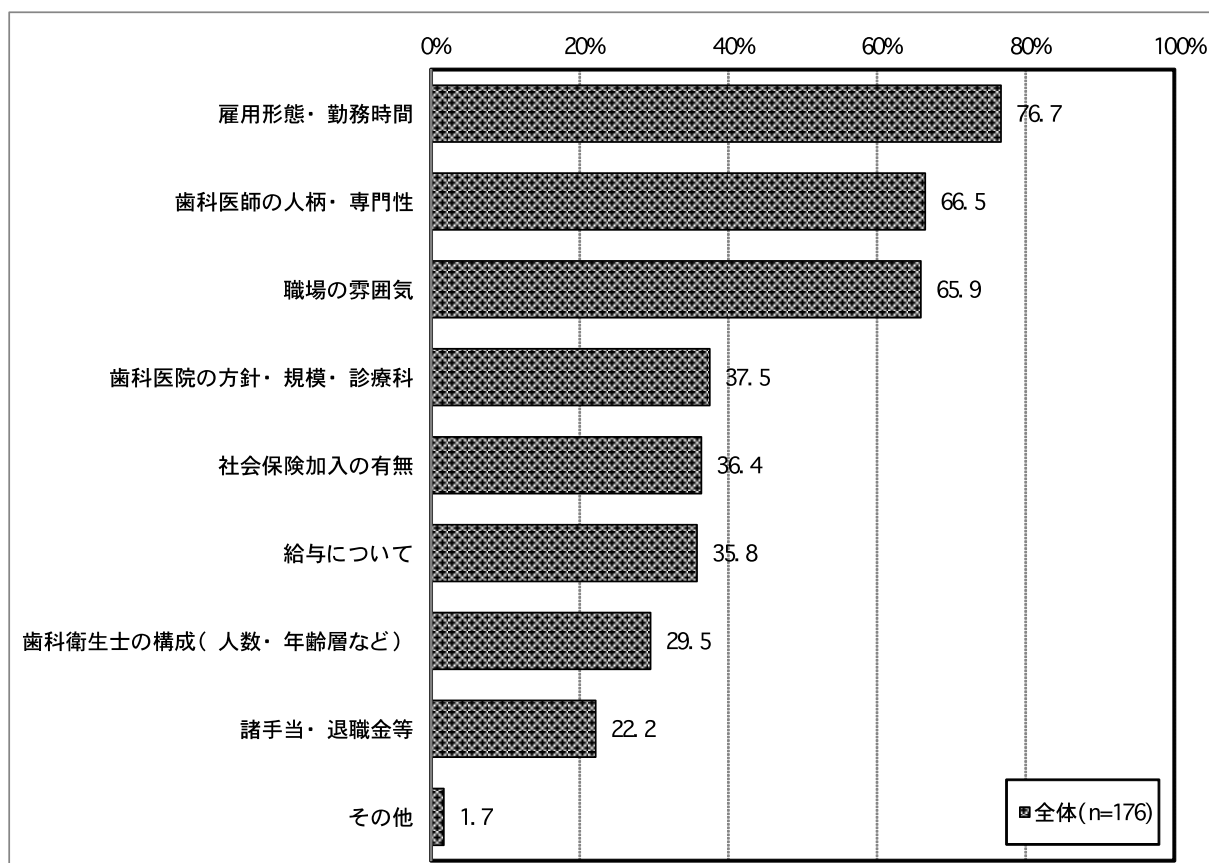


図23 今後、歯科衛生士として復職するとした場合の重要視する内容（複数回答）

24. 歯科衛生士として働いていた最終勤務先を退職してからの年数

歯科衛生士として働いていた最終勤務先を退職してからの年数を全体で見ると、「1年未満」が2.2%、「1～3年未満」が7.7%、「3～10年未満」が13.7%、「10～20年未満」が13.4%、「20年以上」が11.5%(無回答が51.6%)であり、平均は12.2年である。なお、無回答が多いために、年代別の考察に関しては割愛した(図24)。

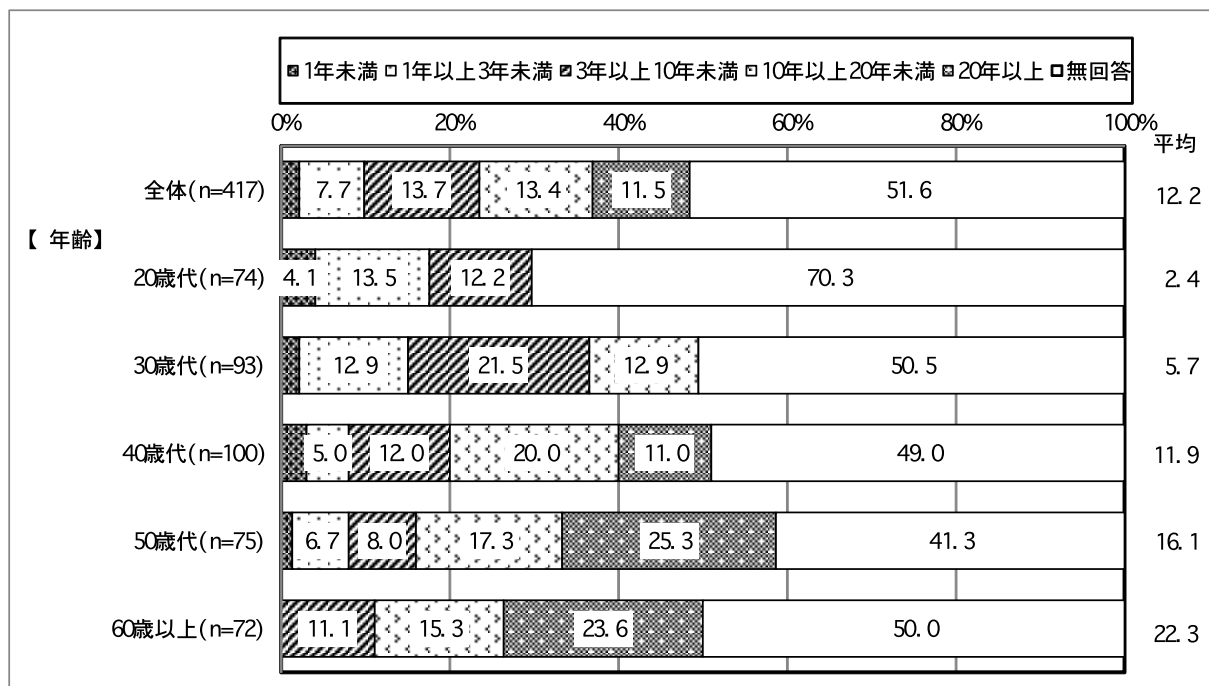


図24. 歯科衛生士として働いていた最終勤務先を退職してからの年数

調査集計結果（歯科技工士）

1. 性別

性別を全体でみると、「男性」が 53.4%、「女性」が 46.3%である。

年代別でみると、「男性」では、「20 歳代」が 46.3%、「30 歳代」が 41.3%、「40 歳代」が 45.5%、「50 歳代」が 60.3%、「60 歳以上」が 75.7%、「女性」では、「20 歳代」が 53.7%、「30 歳代」が 58.8%、「40 歳代」が 54.5%、「50 歳代」が 39.7%、「60 歳以上」が 24.3%である（図 1）。

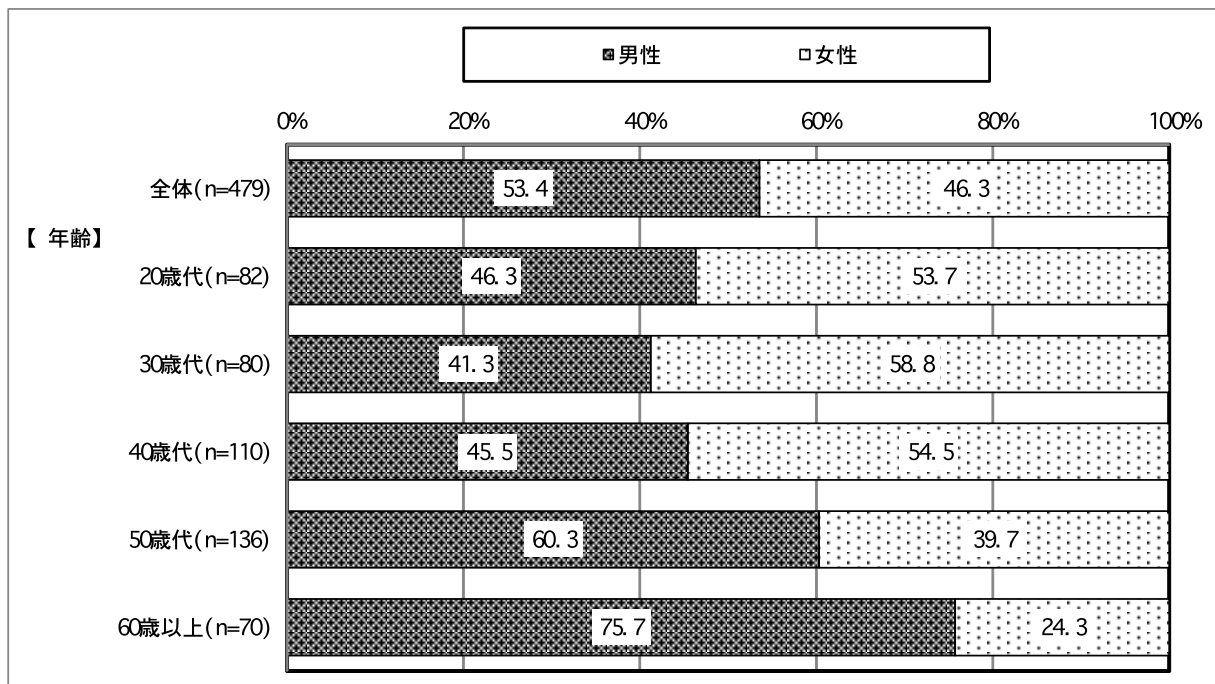


図 1 性別

2. 年齢

年齢を全体で見ると、「20歳代」が17.1%、「30歳代」が16.7%、「40歳代」が23.0%、「50歳代」が28.4%、「60歳以上」が14.6%であり、全体としては「50歳代」が最も高く、次いで、「40歳代」である（図2）。

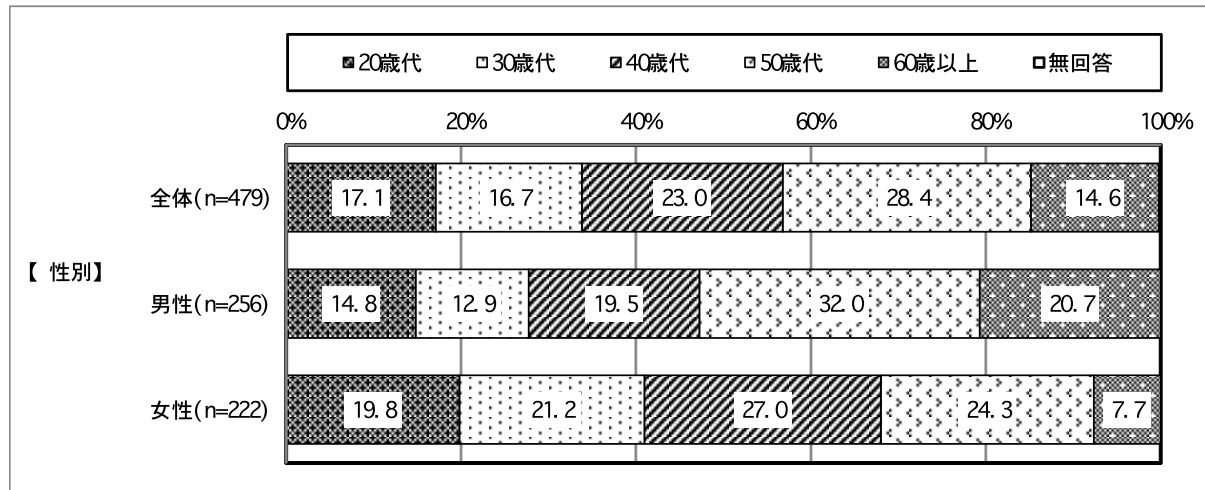


図2 年齢

3. 現在の住居地

現在の住居地を全体で見ると、「県内」が 95.4%、「県外」が 4.0%であり、県内でも、新潟市内が 43.6%を占めている（図 3）。

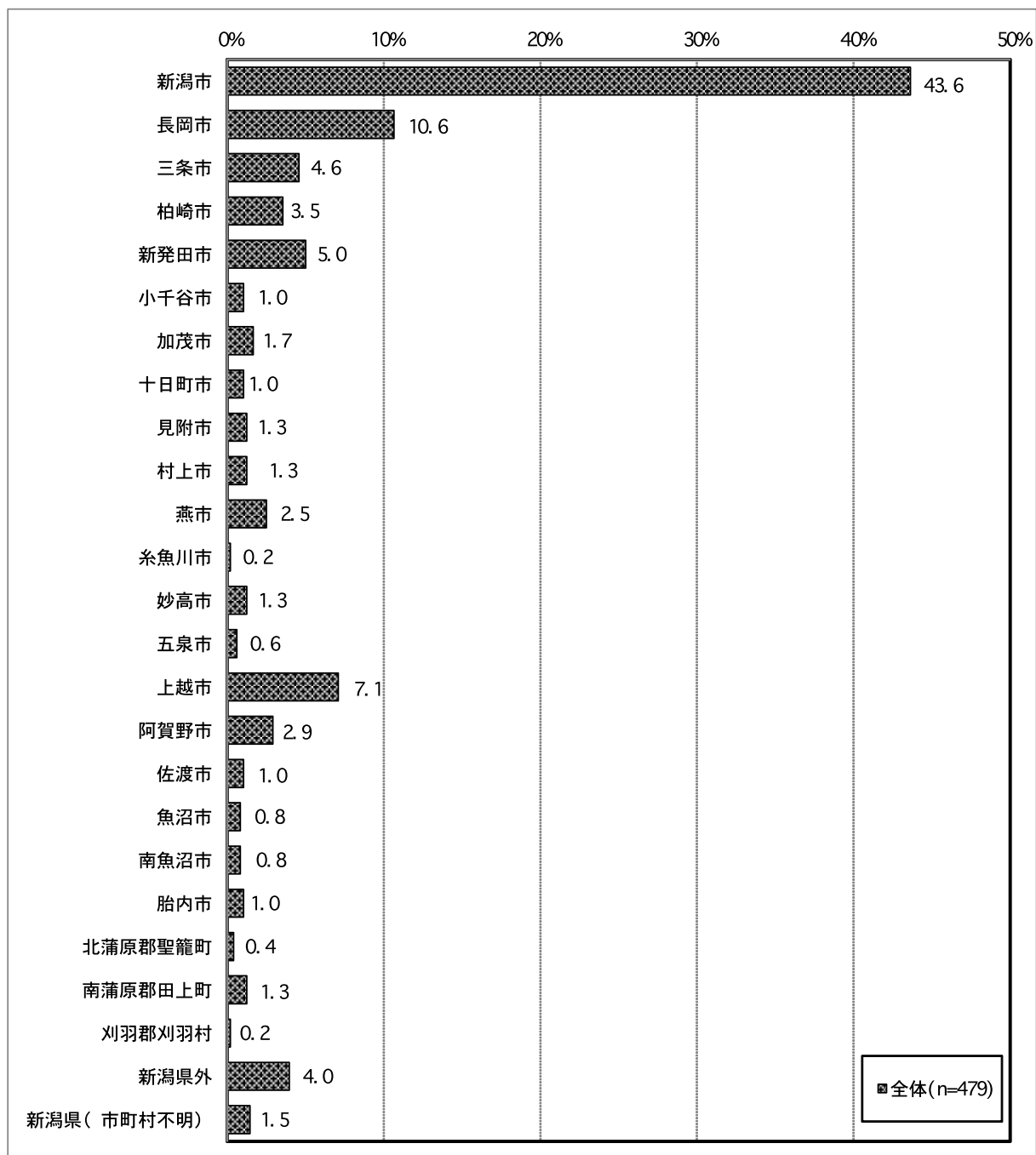


図 3 現在の住居地

4. 歯科技工士として就業の有無

歯科技工士としての就業の有無を全体でみると、「就業している」が 53.0%、「就業していない」が 47.0%である。

性別でみると、「男性」では、「就業している」が 63.7%、「就業していない」が 36.3%、「女性」では、「就業している」が 40.5%、「就業していない」が 59.5%である。

年代別でみると、「就業している」では、「20歳代」が 50.0%、「30歳代」が 43.8%、「40歳代」が 50.0%、「50歳代」が 63.2%、「60歳以上」が 51.4%である（図 4）。

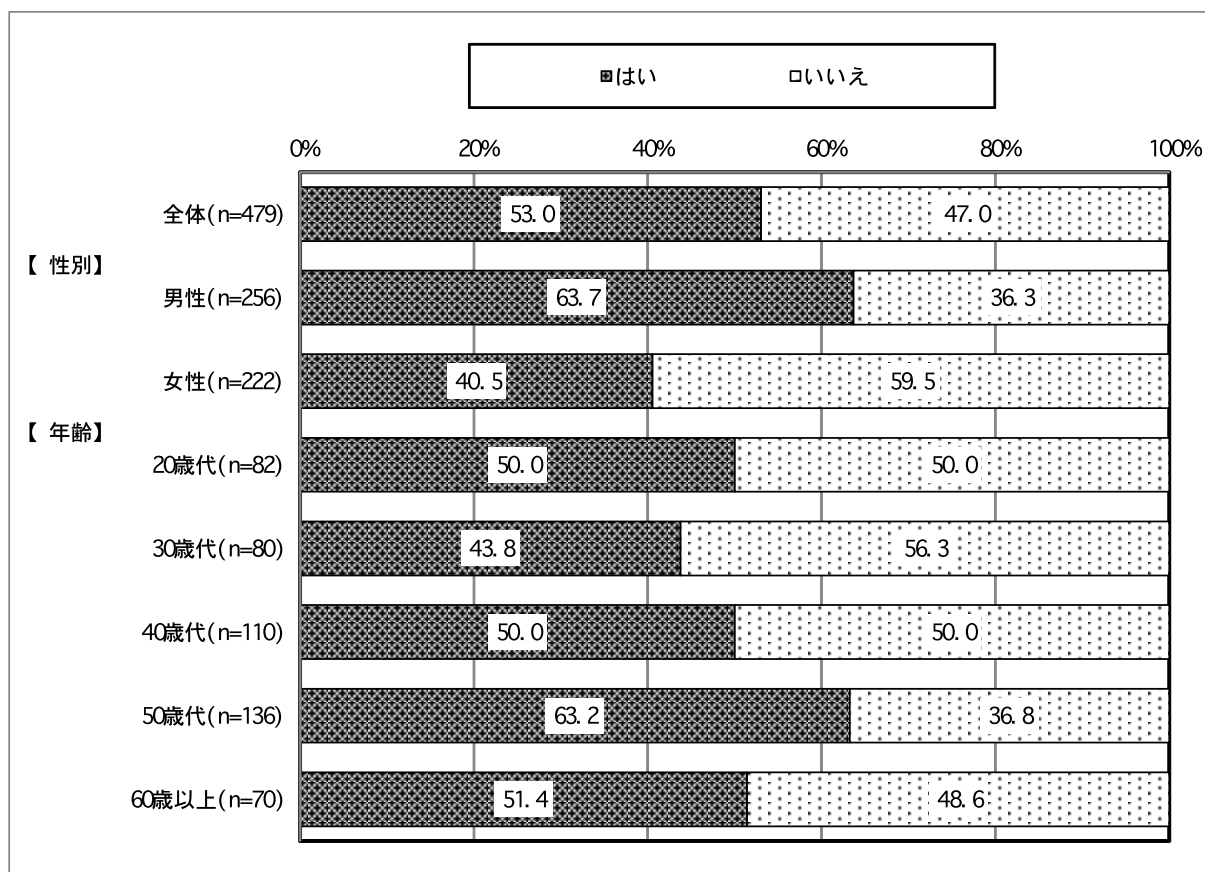


図 4 歯科技工士として就業の有無

5. 現在の主な勤務先の就業状況

現在の主な勤務先の就業状況を全体で見ると、「常勤（フルタイム）」が 78.7%、「非常勤・パート」が 13.8%、「その他」が 5.5%である。

性別で見ると、「男性」では、「常勤（フルタイム）」が 85.9%、「非常勤・パート」が 4.9%、「その他」が 6.7%、「女性」では、「常勤（フルタイム）」が 66.7%、「非常勤・パート」が 30.0%、「その他」が 3.3%である。

年代別で見ると、「20 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 85.4%、「非常勤・パート」が 12.2%、「その他」が 2.4%、「30 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 80.0%、「非常勤・パート」が 17.1%、「その他」が 2.9%、「40 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 81.8%、「非常勤・パート」が 12.7%、「その他」が 5.5%、「50 歳代」では、「常勤（フルタイム）」が 84.9%、「非常勤・パート」が 10.5%、「その他」が 3.5%、「60 歳以上」では、「常勤（フルタイム）」が 52.8%、「非常勤・パート」が 22.2%、「その他」が 16.7%である（図 5）。

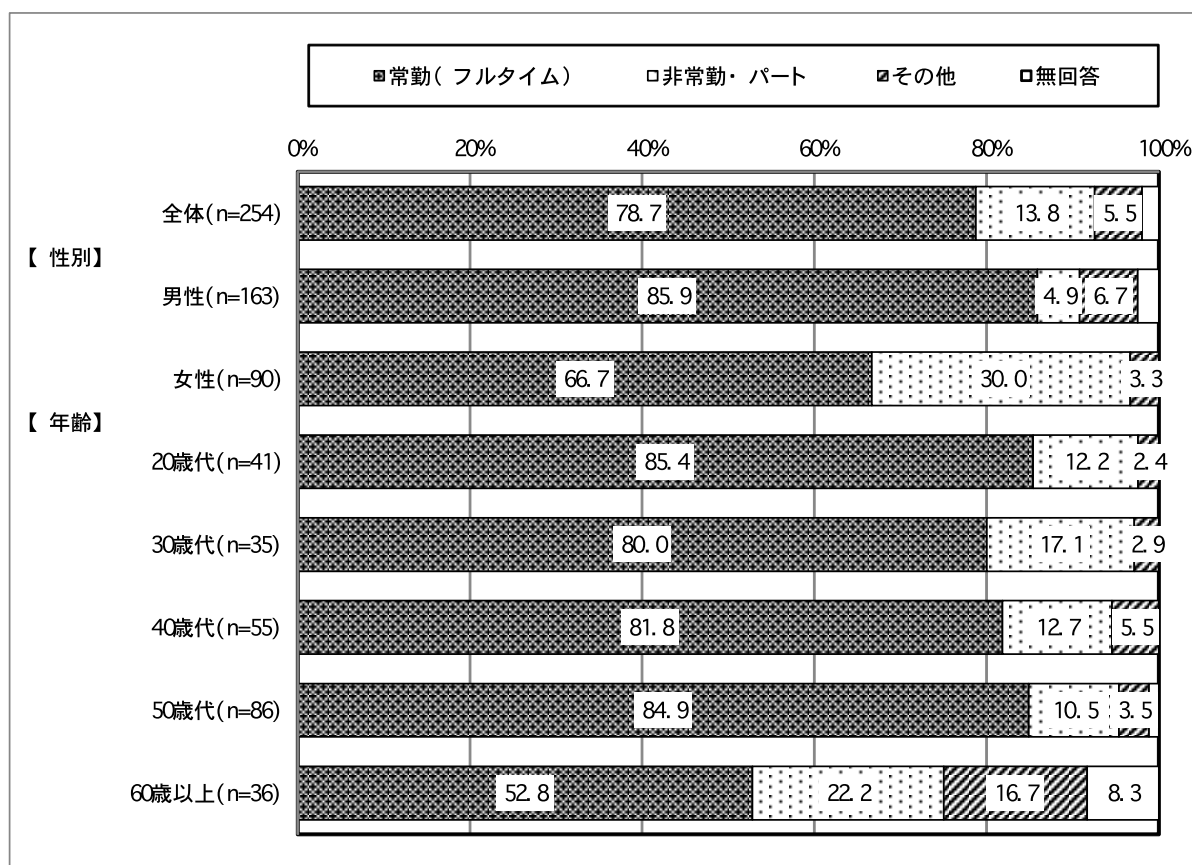


図 5 現在の主な勤務先の就業状況

6. 現在の仕事のやりがい

現在の仕事のやりがいを全体で見ると、「非常に感じている」が 16.9%、「ある程度感じている」が 52.0%で、「非常に感じている+ある程度感じている」=『感じている』が 68.9%、「あまり感じていない」が 19.7%、「全く感じていない」が 7.9%、「あまり感じていない+全く感じていない」=『感じていない』が 27.6%である。

性別で見ると、「男性」では、『感じている』が 68.1%、『感じていない』が 29.4%、「女性」では、『感じている』が 71.1%、『感じていない』が 24.4%である。

年代別で見ると、「20歳代」では、『感じている』が 68.3%、『感じていない』が 24.4%、「30歳代」では、『感じている』が 88.6%、『感じていない』が 8.6%、「40歳代」では、『感じている』が 65.5%、『感じていない』が 29.1%、「50歳代」では、『感じている』が 68.6%、『感じていない』が 30.2%、「60歳以上」では、『感じている』が 58.3%、『感じていない』が 41.7%である（図6）。

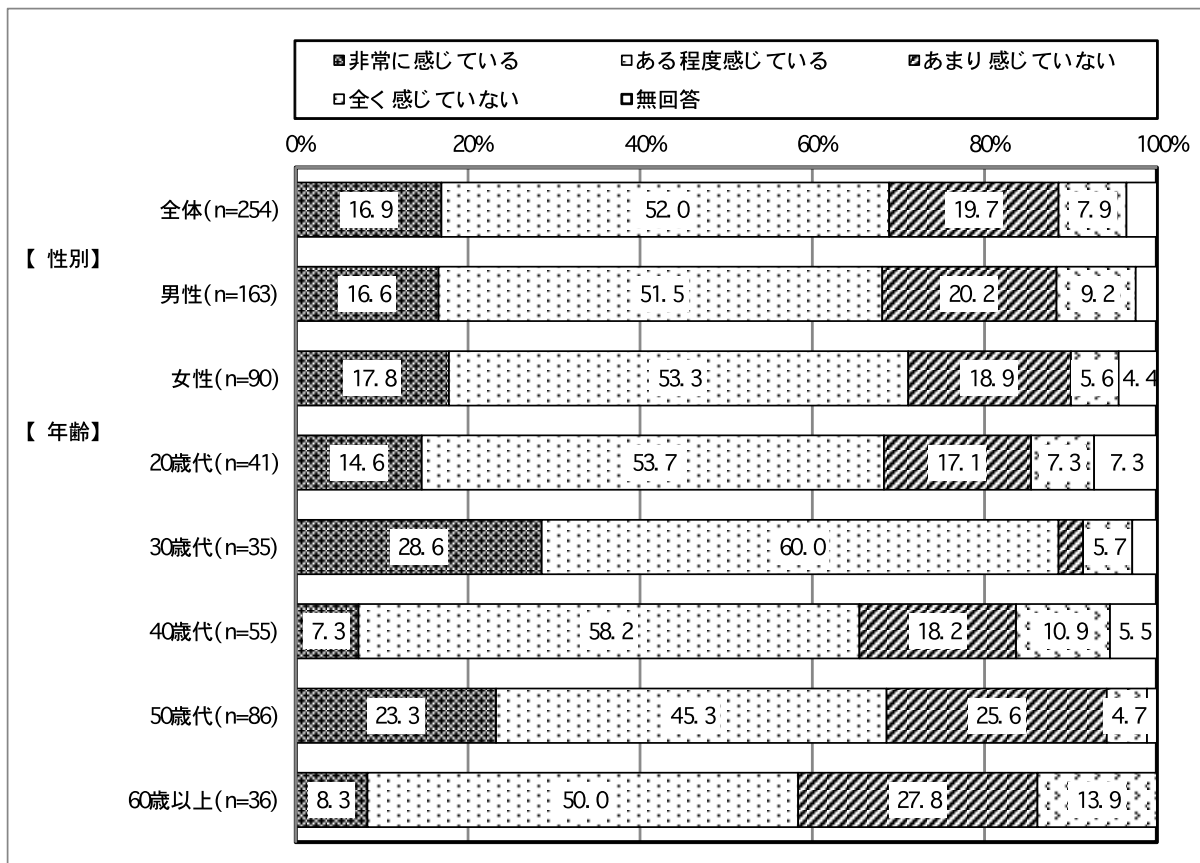


図6 現在の仕事のやりがい

7. 歯科技工士の仕事の魅力

歯科技工士の仕事の魅力を全体でみると、「専門性の高い仕事である」が53.5%、「国家資格であり一生続けられる」が44.1%、「人の健康を守る仕事である」が33.1%、「人や社会に貢献できる」が31.9%、「転職・就職に困らない」が6.7%、「収入が安定している」が3.5%、「その他」が9.4%である（図7）。

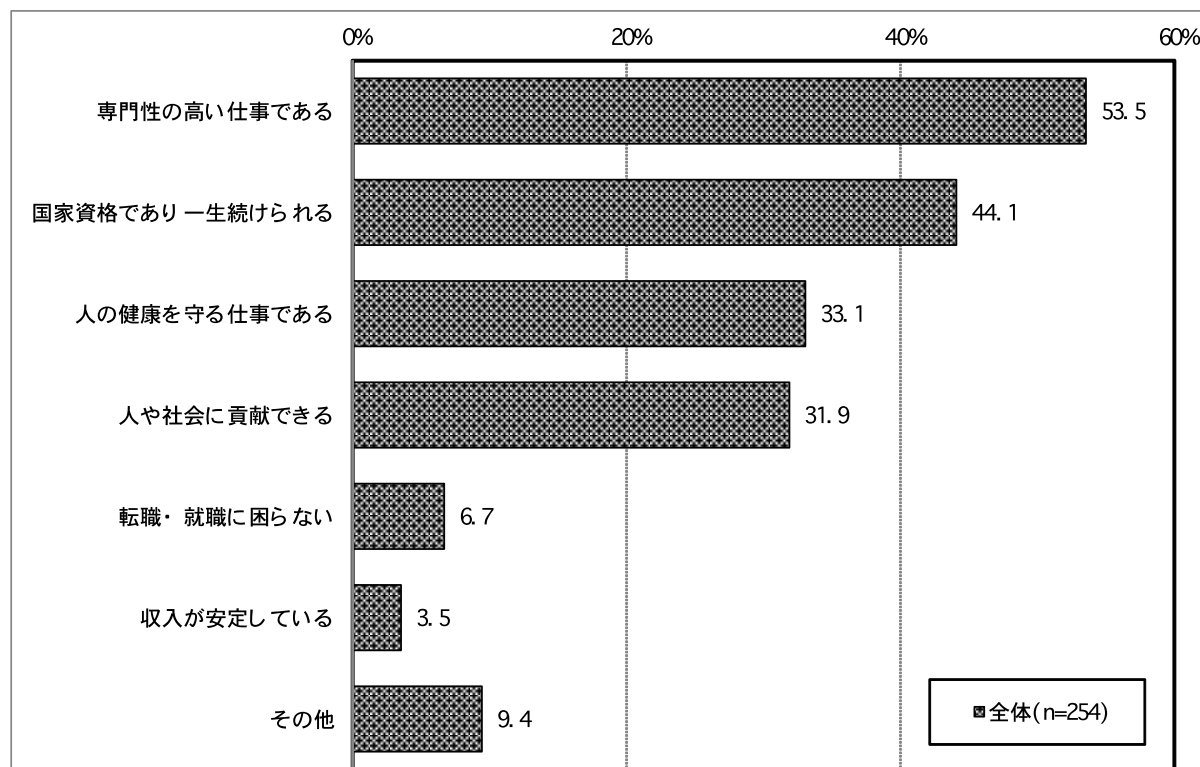


図7 歯科技工士の魅力（複数回答）

8. 現在の就業場所

現在の就業場所を全体でみると「技工所」が 67.3%、「診療所」が 20.1%、「病院・大学病院」が 3.9%、「障害者歯科診療所等」が 0.0%、「企業・事業所」が 2.0%、「その他」が 5.9%である。

性別でみると、「男性」では、「技工所」が 71.8%、「診療所」が 14.7%、「病院・大学病院」が 4.3%、「障害者歯科診療所等」が 0.0%、「企業・事業所」が 3.1%、「その他」が 6.1%、「女性」では、「技工所」が 60.0%、「診療所」が 30.0%、「病院・大学病院」が 3.3%、「障害者歯科診療所等」、「企業・事業所」がともに 0.0%、「その他」が 5.6%である。

年代別でみると、「20歳代」では、「技工所」が 80.5%、「診療所」が 14.7%、「病院・大学病院」、「障害者歯科診療所等」がともに 0.0%、「企業・事業所」、「その他」がともに 2.4%、「30歳代」では、「技工所」が 57.1%、「診療所」が 31.4%、「病院・大学病院」、「障害者歯科診療所等」がともに 0.0%、「企業・事業所」、「その他」がともに 5.7%、「40歳代」では、「技工所」が 56.4%、「診療所」が 36.4%、「病院・大学病院」、「障害者歯科診療所等」がともに 0.0%、「企業・事業所」が 1.8%、「その他」が 3.6%、「50歳代」では、「技工所」が 70.9%、「診療所」が 14.0%、「病院・大学病院」が 10.5%、「障害者歯科診療所等」、「企業・事業所」がともに 0.0%、「その他」が 4.7%、「60歳以上」では、「技工所」が 72.2%、「診療所」が 5.6%、「病院・大学病院」が 2.8%、「障害者歯科診療所等」が 0.0%、「企業・事業所」が 2.8%、「その他」が 16.7%である（図 8）。

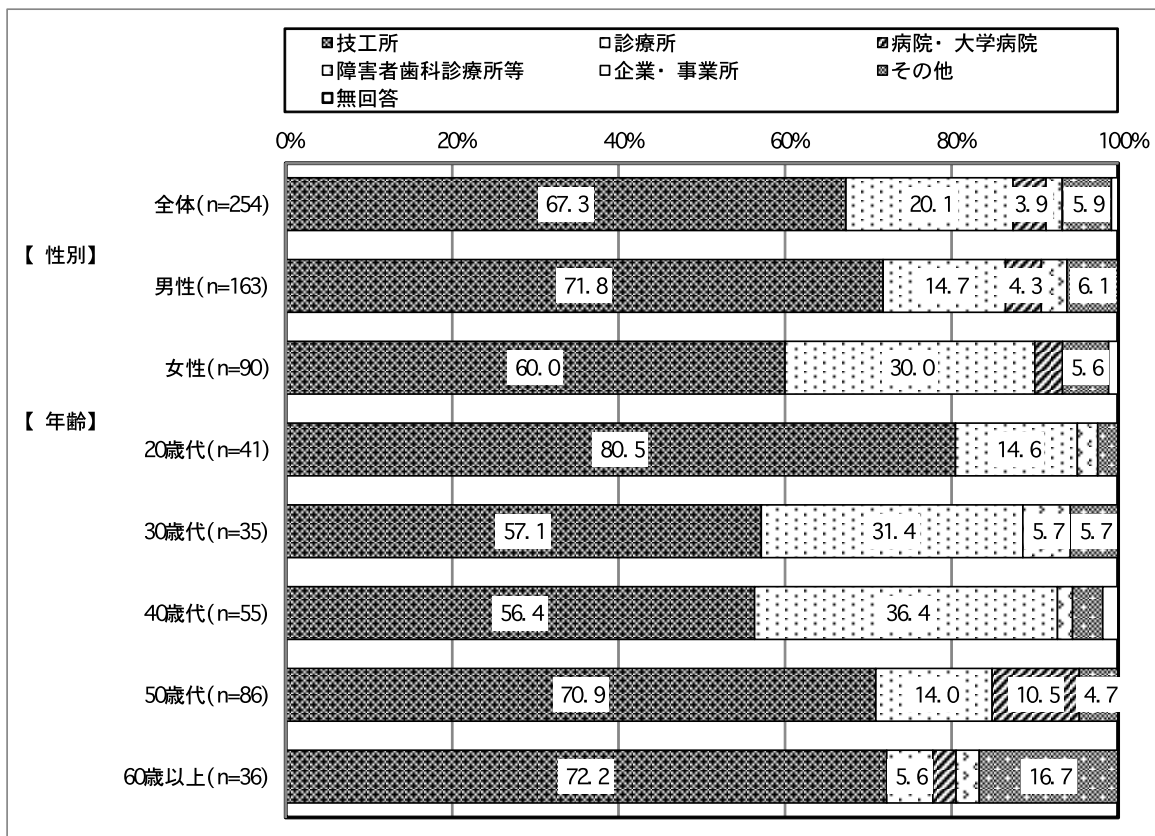


図 8 現在の就業場所

9. 現在の職場に改善してほしいこと

現在の職場に改善してほしいことを全体でみると、「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」が53.1%、「労働時間の短縮」が37.8%、「休暇の取得」が29.1%、「専門性・資格等の評価」が26.8%、「業務量の軽減」が24.0%、「福利厚生 の充実」が20.9%、「教育研修等、レベルアップの機会の充実」が15.7%、「雇用の安定性の確保」が13.8%、「子育ての支援の充実」が10.2%、「職場の人間関係の改善」が9.4%、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」が9.1%、「医療安全体制の充実」が7.9%、「その他」が7.1%であり、最も改善希望が多いのは「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」の53.1%である（図9）。

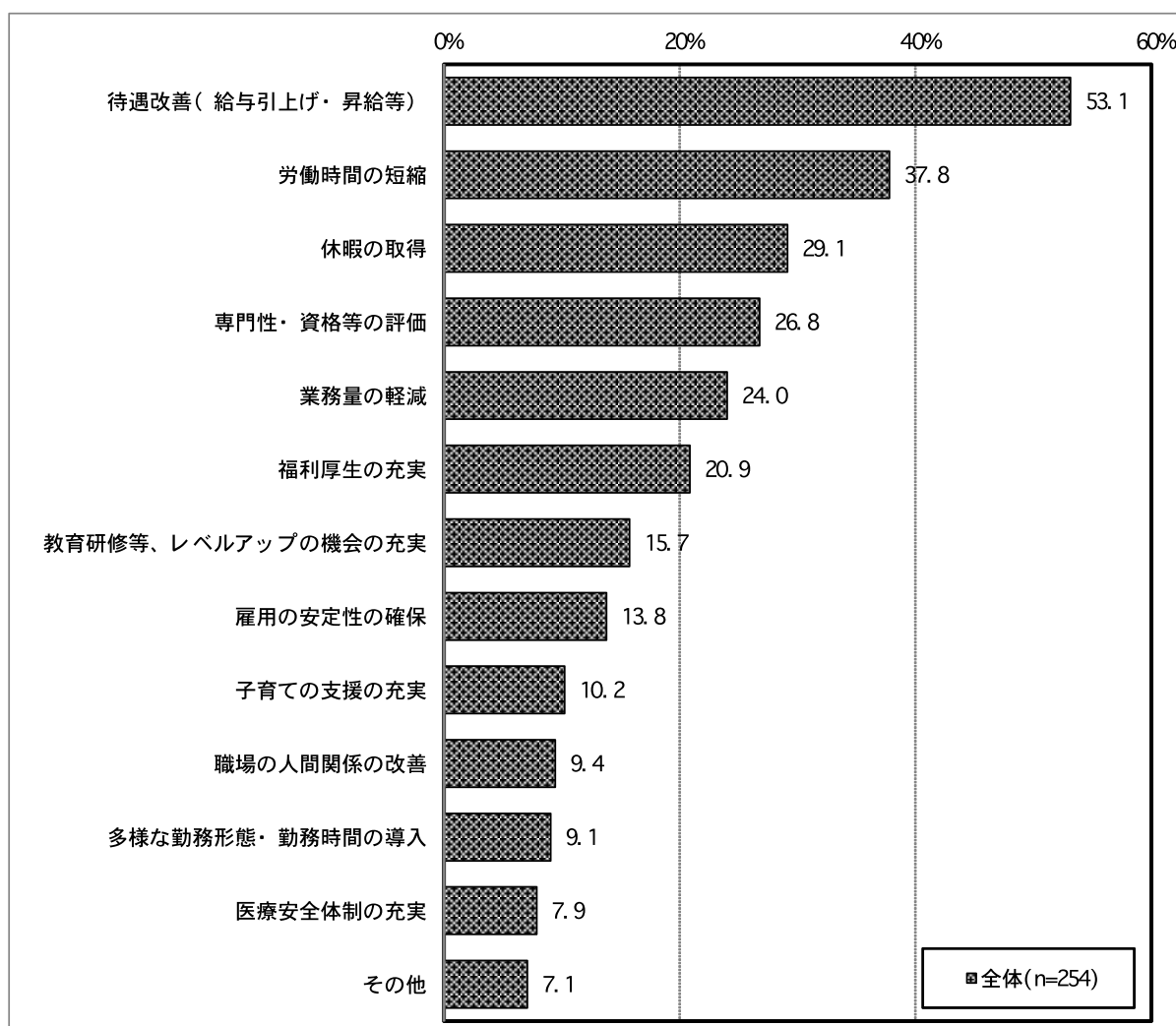


図9 現在の職場に改善してほしいこと（複数回答）

10. 現在の職場に最も改善してほしいこと

現在の職場に最も改善してほしいことを全体でみると、「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」が 32.9%、「専門性・資格等の評価」が 18.0%、「労働時間の短縮」が 15.0%、「業務量の軽減」、「休暇の取得」がともに 6.0%、「雇用の安定性の確保」が 4.8%、「福利厚生の充実」が 4.2%、「教育研修等、レベルアップの機会の充実」が 3.0%、「職場の人間関係の改善」、「多様な勤務形態・勤務時間の導入」がともに 1.8%、「医療安全体制の充実」、「子育ての支援の充実」がともに 0.6%、「その他」が 5.4%であり、最も改善希望が多いのは「待遇改善（給料引上げ・昇給等）」の 32.9%である（図 10）。

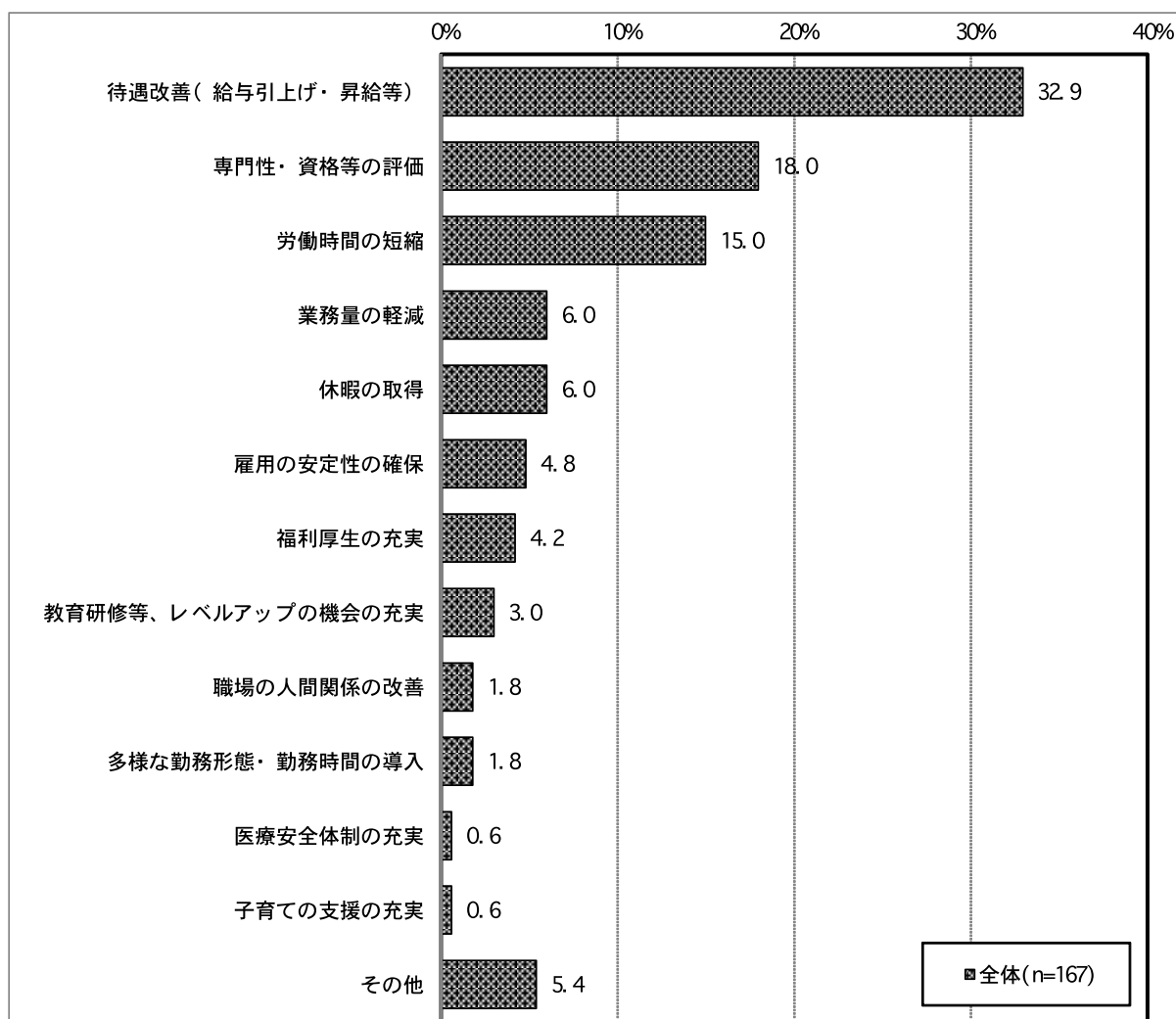


図 10 現在の職場に最も改善してほしいこと

11. 経営者の経験の有無

経営者の経験の有無を全体で見ると、「経験あり」が39.8%、「経験なし」が58.3%である。

性別で見ると、「男性」では、「経験あり」が55.8%、「経験なし」が43.6%であり、「女性」では、「経験あり」が11.1%、「経験なし」が85.6%である。

年代別で見ると、「20歳代」では、「経験あり」が4.9%、「経験なし」が95.1%、30歳代では、「経験あり」が11.4%、「経験なし」が88.6%、「40歳代」では、「経験あり」が30.9%、「経験なし」が63.6%、「50歳代」では、「経験あり」が60.5%、「経験なし」が39.5%、「60歳以上」では、「経験あり」が72.2%、「経験なし」が25.0%である（図11）。

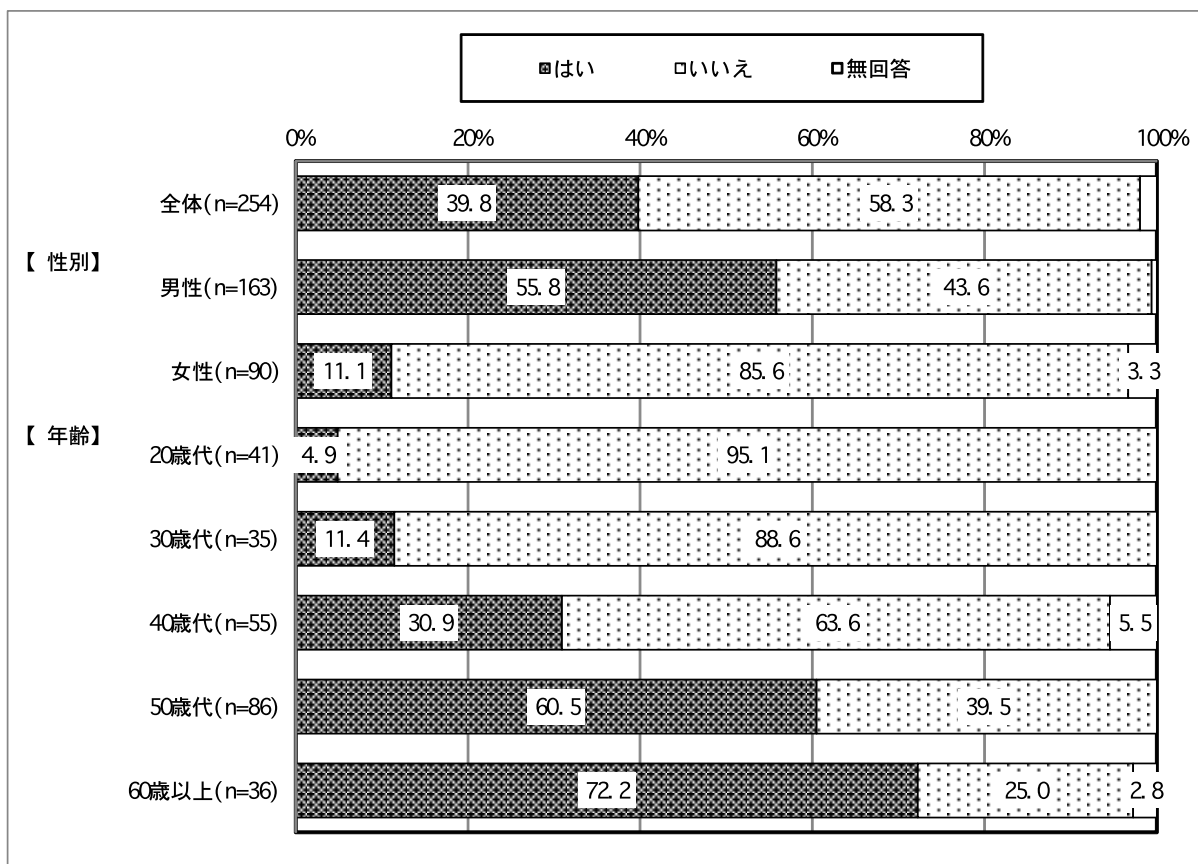


図11 経営者の経験の有無

12. 現在、経営者か否か

現在、経営者か否かを全体で見ると、「経営者である」が 86.1%、「経営者ではない」が 12.9%である。

性別で見ると、「男性」では、「経営者である」が 86.8%、「経営者ではない」が 12.1%であり、「女性」では、「経営者である」が 80.0%、「経営者ではない」が 20.0%である。

年代別で見ると、「20 歳代」では、「経営者である」が 0.0%、「経営者ではない」が 100.0%、「30 歳代」では、「経営者である」が 50.0%、「経営者ではない」が 50.0%、「40 歳代」では、「経営者である」が 82.4%、「経営者ではない」が 17.6%、「50 歳代」では、「経営者である」が 94.2%、「経営者ではない」が 5.8%、「60 歳以上」では、「経営者である」が 84.6%、「経営者ではない」が 11.5%であり、年齢が高いにつれて経営者の割合が高いことがわかる（図 12）。

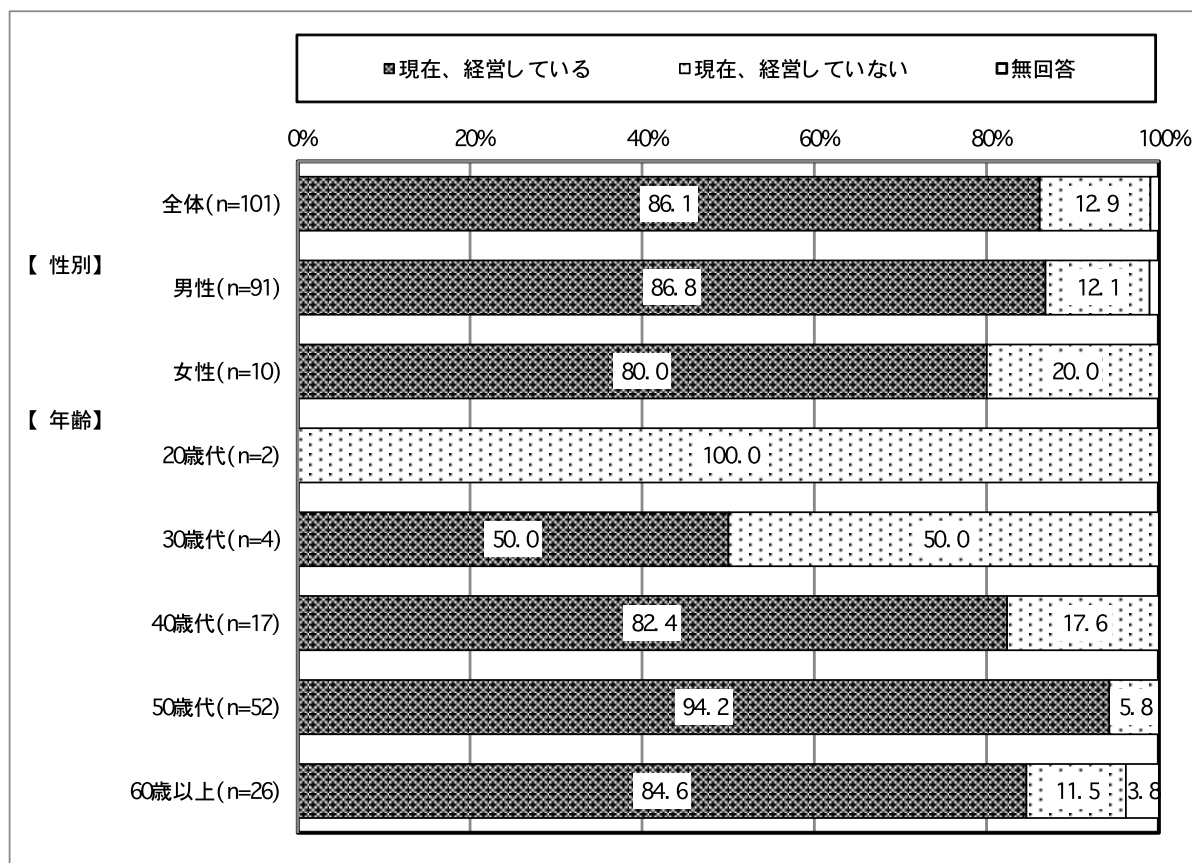


図 1 2 現在、経営者か否か

13. 1週間の平均勤務日数

1週間の平均勤務日数を全体で見ると、「5日未満」が5.9%、「5日以上～6日未満」が39.0%、「6日以上」が49.6%であり、1週間の平均勤務日数は5.5日である。

性別を平均で見ると、「男性」が5.6日、「女性」が5.3日である。

年代別を平均で見ると、「20歳代」が5.4日、「30歳代」が5.3日、「40歳代」が5.4日、「50歳代」が5.6日、「60歳以上」が5.5日である（図13）。

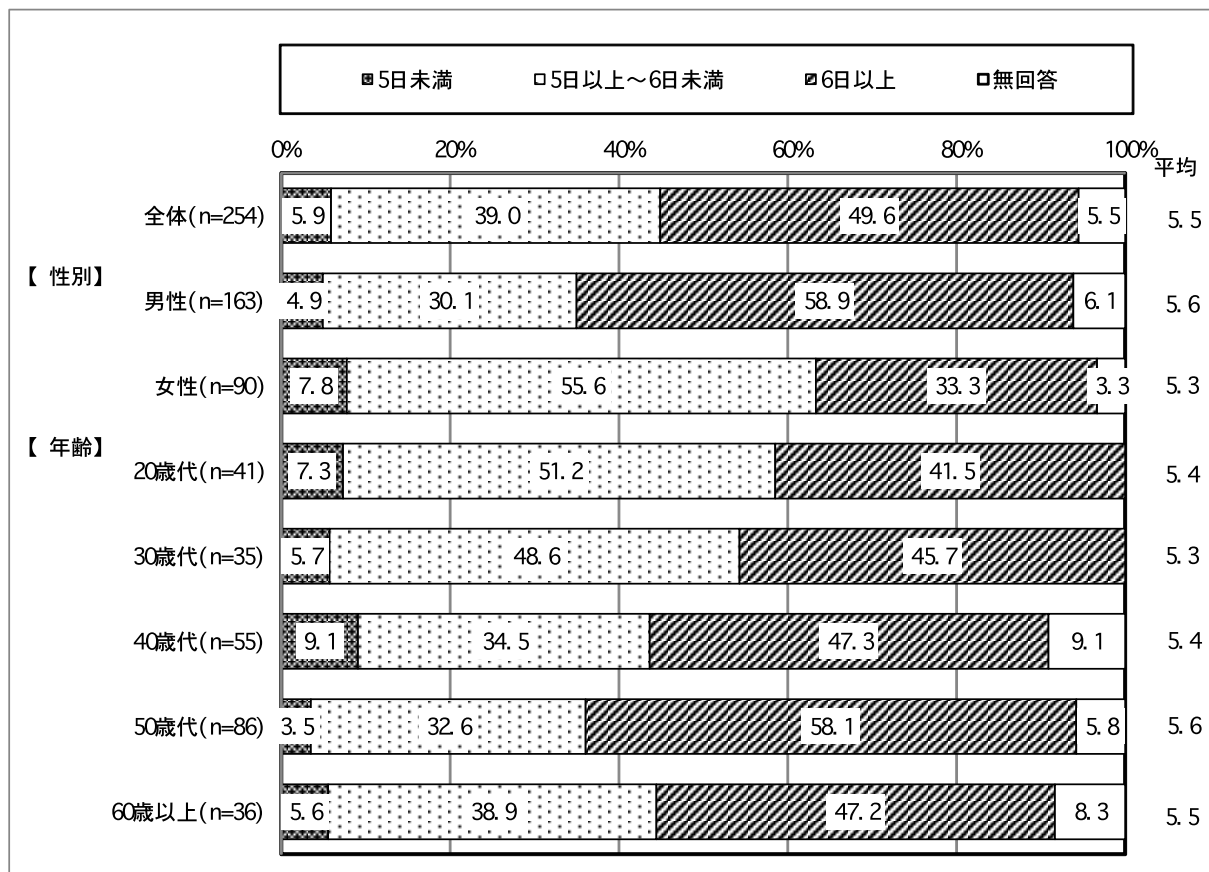


図13 1週間の平均勤務日数

14. 1日の平均勤務時間

1日の平均勤務時間を全体で見ると、「8時間未満」が16.5%、「8時間以上10時間未満」が25.2%、「10時間以上12時間未満」が22.4%、「12時間以上15時間未満」が25.6%、「15時間以上」が4.3%であり、1日の平均勤務時間は9.8時間である。

性別を平均で見ると、「男性」が10.5時間、「女性」が8.7時間である。

年代別を平均で見ると、「20歳代」が10.8時間、「30歳代」が9.8時間、「40歳代」が9.9時間、「50歳代」が9.9時間、「60歳以上」が8.3時間である（図14）。

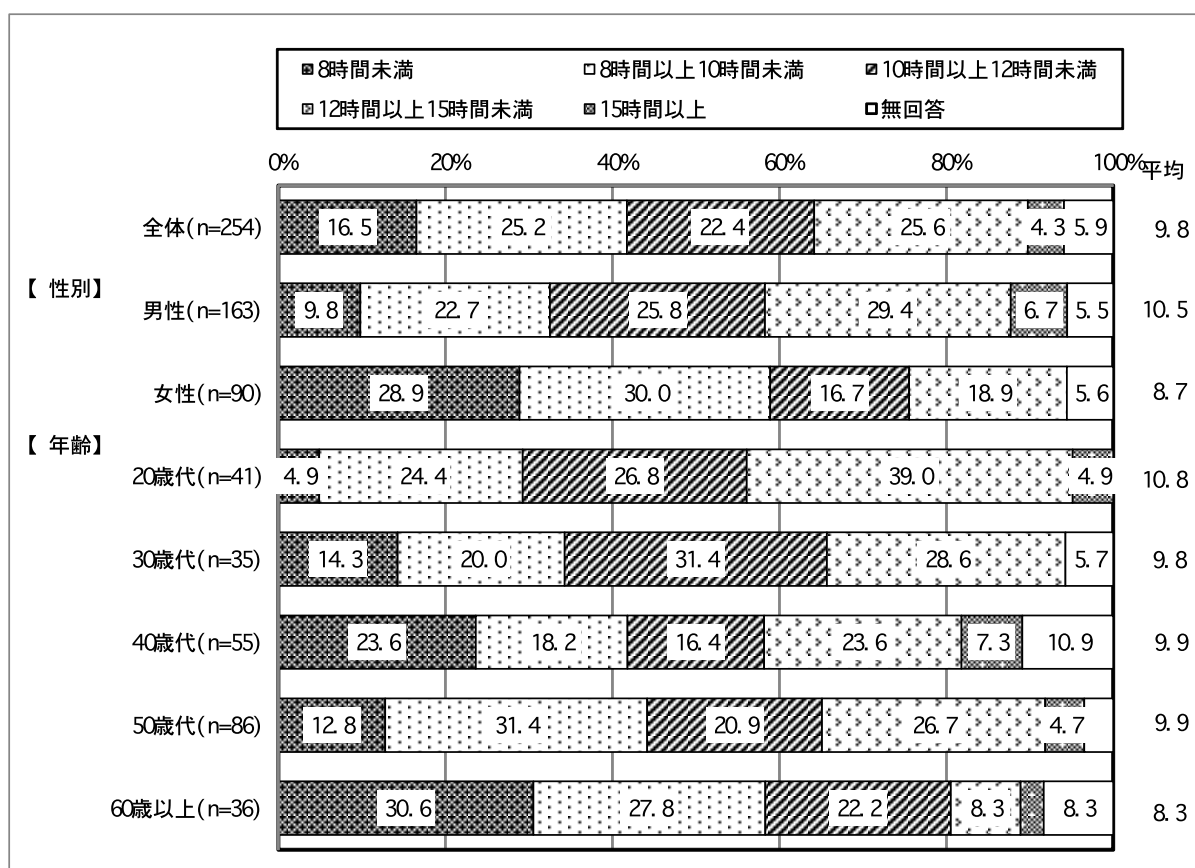


図14 1日の平均勤務時間

15. 歯科技工士の友人等との情報交換の有無

歯科技工士の友人等との情報交換の有無を全体でみると、「よくしている」が7.5%、「たまにしている」が52.4%、「全くしていない」が35.8%である。

性別でみると、「男性」では、「よくしている」が9.2%、「たまにしている」が57.7%、「全くしていない」が28.2%であり、「女性」では、「よくしている」が4.4%、「たまにしている」が43.3%、「全くしていない」が48.9%である。

年代別でみると、「20歳代」では、「よくしている」が2.4%、「たまにしている」が34.1%、「全くしていない」が61.0%、「30歳代」では、「よくしている」が14.3%、「たまにしている」が57.1%、「全くしていない」が22.9%、「40歳代」では、「よくしている」が7.3%、「たまにしている」が54.5%、「全くしていない」が36.4%、「50歳代」では、「よくしている」が7.0%、「たまにしている」が60.5%、「全くしていない」が27.9%、「60歳以上」では、「よくしている」が8.3%、「たまにしている」が47.2%、「全くしていない」が36.1%である（図15）。

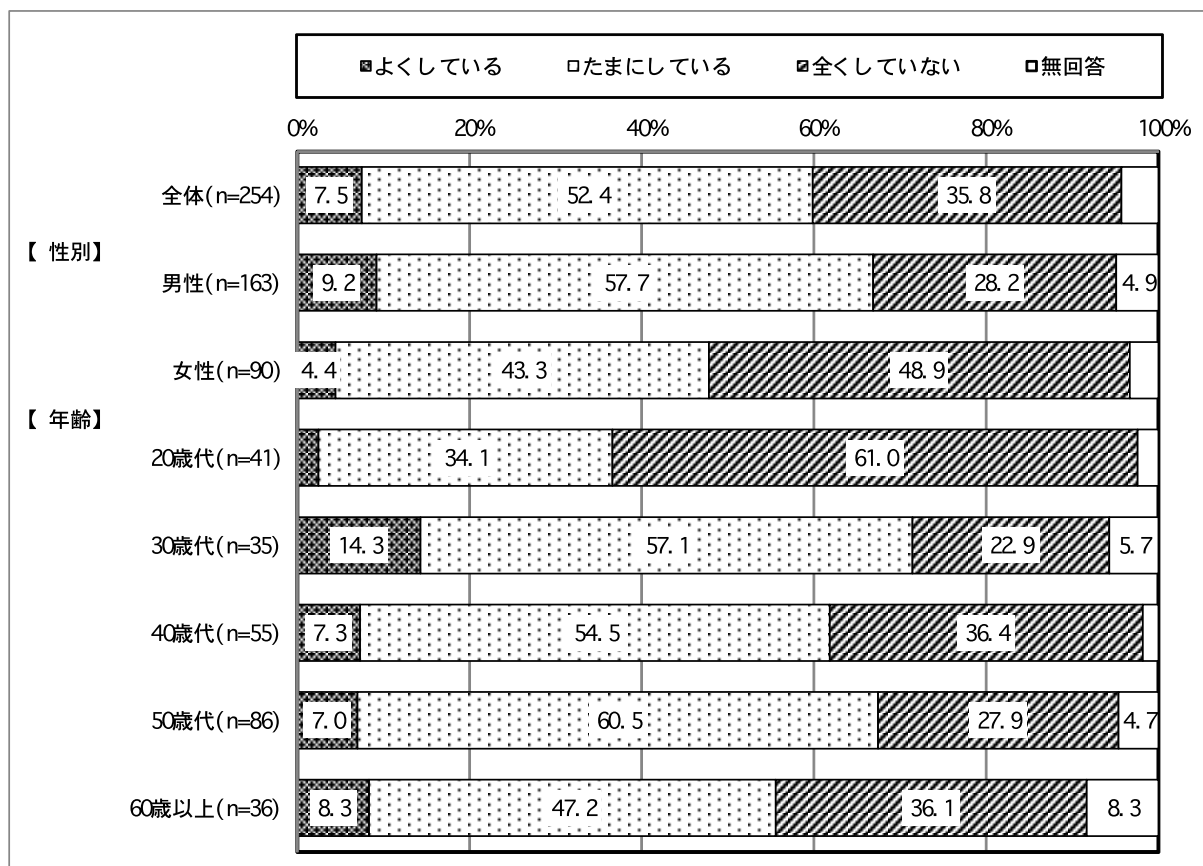


図15 歯科技工士の友人等との情報交換の有無

16. 歯科技工士として働いている年数

歯科技工士として働いている年数を全体で見ると、「5年未満」が10.6%、「5年以上10年未満」が5.9%、「10年以上15年未満」が6.7%、「15年以上20年未満」が8.7%、「20年以上30年未満」が21.3%、「30年以上40年未満」が32.7%、「40年以上」が11.0%であり、平均は24.8年ある。

性別を平均で見ると、「男性」が27.6年、「女性」が19.7年である。

年代別を平均で見ると、「20歳代」が4.1年、「30歳代」が14.4年、「40歳代」が24.5年、「50歳代」が33.3年、「60歳以上」が40.8年である（図16）。

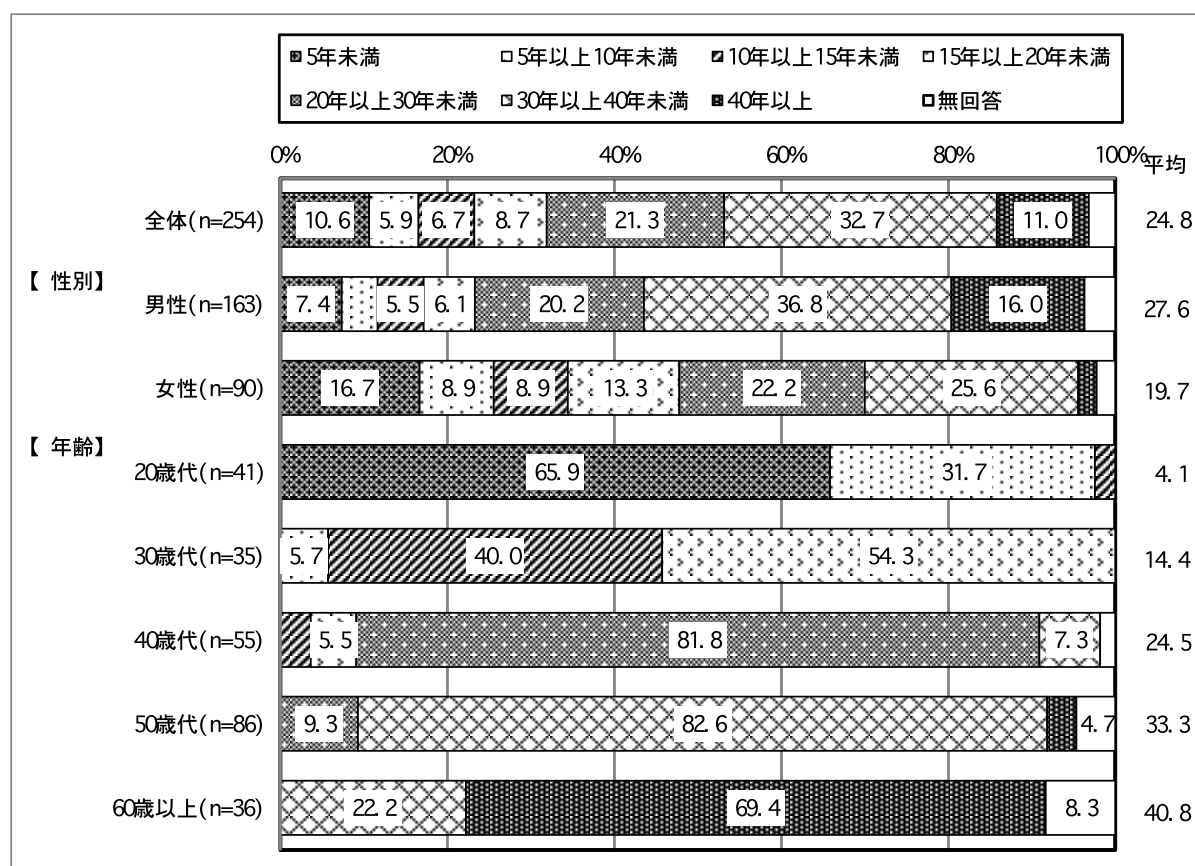


図16 歯科技工士として働いている年数

17. 今後も歯科技工士として働き続けたいと思うか

今後も歯科技工士として働き続けたいと思うかを全体で見ると、「思う」が 80.7%、「思わない」が 14.6%である。

性別で見ると、「男性」では、「思う」が 83.4%、「思わない」が 11.7%、「女性」では、「思う」が 76.7%、「思わない」が 18.9%である。

年代別で見ると、「20歳代」では、「思う」が 63.4%、「思わない」が 29.3%、「30歳代」では、「思う」が 91.4%、「思わない」が 5.7%、「40歳代」では、「思う」が 78.2%、「思わない」が 20.0%、「50歳代」では、「思う」が 87.2%、「思わない」が 8.1%、「60歳以上」では、「思う」が 80.6%、「思わない」が 11.1%である（図 17）。

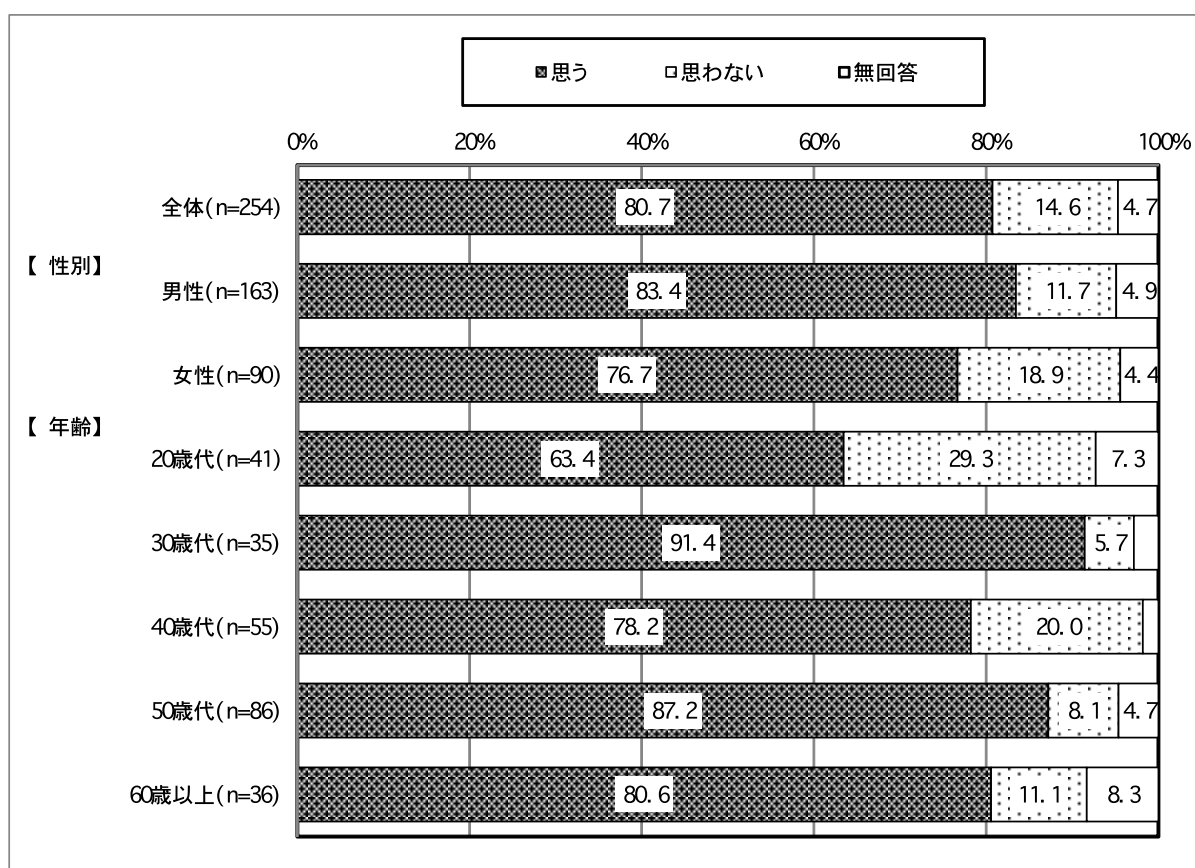


図 17 今後も歯科技工士として働き続けたいと思うか

18. 歯科技工士として何歳位まで働きたいか

歯科技工士として何歳位まで働きたいかを全体でみると、「60歳未満」が11.2%、「60歳～65歳」が56.1%、「66歳～69歳」が2.4%、「70歳以上」が21.5%、「可能な限り」が3.9%であり、平均は63.1年ある。

性別を平均でみると、「男性」が65.5年、「女性」が58.7年である。

年代別を平均でみると、「20歳代」が54.2年、「30歳代」が60.6年、「40歳代」が62.8年、「50歳代」が65.7年、「60歳以上」が68.6年である（図18）。

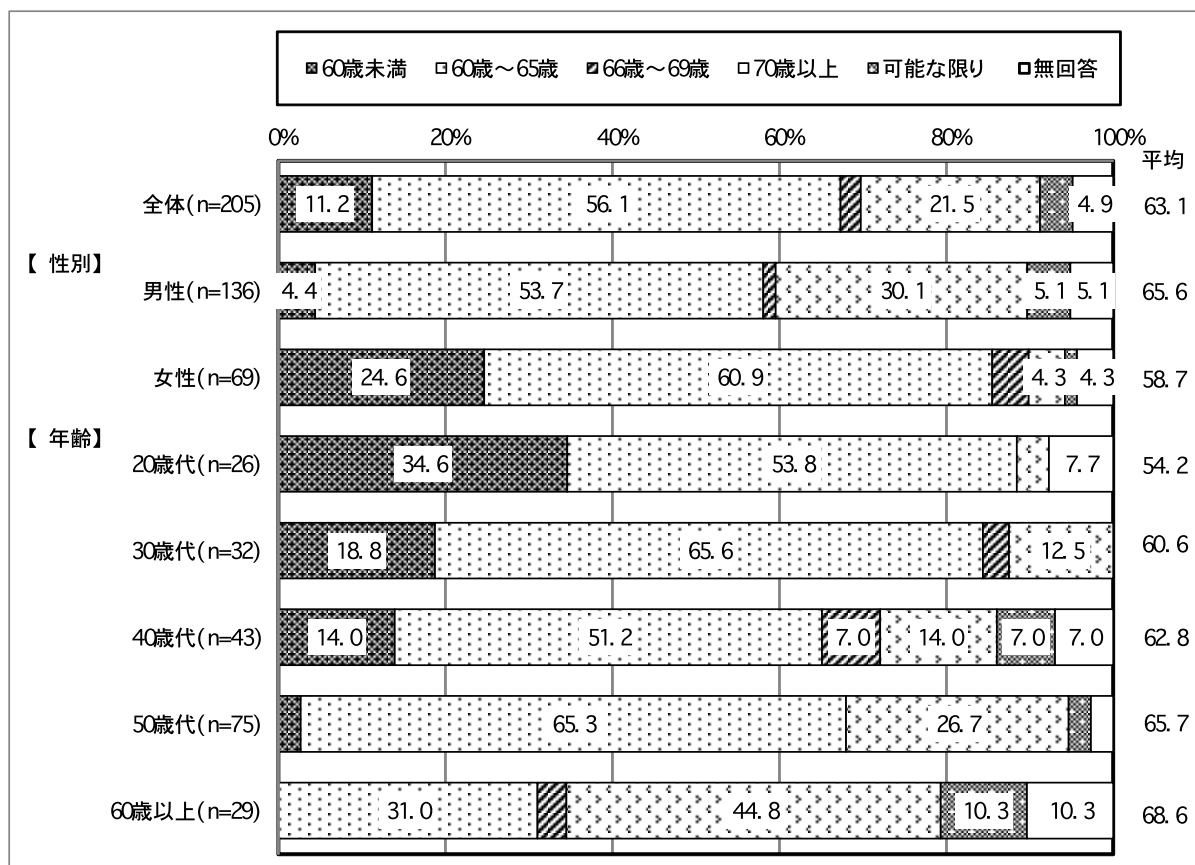


図18 歯科技工士として何歳位まで働きたいか

19. 現在、歯科技工士として就業していない理由

現在、歯科技工士として就業していない理由を全体でみると、「給与・待遇の面」が48.4%、「仕事内容への不安」が40.0%、「自分の健康」が21.8%、「歯科以外への興味」が20.9%、「出産・育児」が18.2%、「家庭の事情」が15.1%、「退職・高齢」が14.7%、「職場の人間関係」、「結婚」がともに14.2%、「家族等の介護」が7.6%、「その他」が23.6%であり、最も多い理由は、「給与・待遇の面」であった。次いで、「仕事内容への不安」である（図19）。

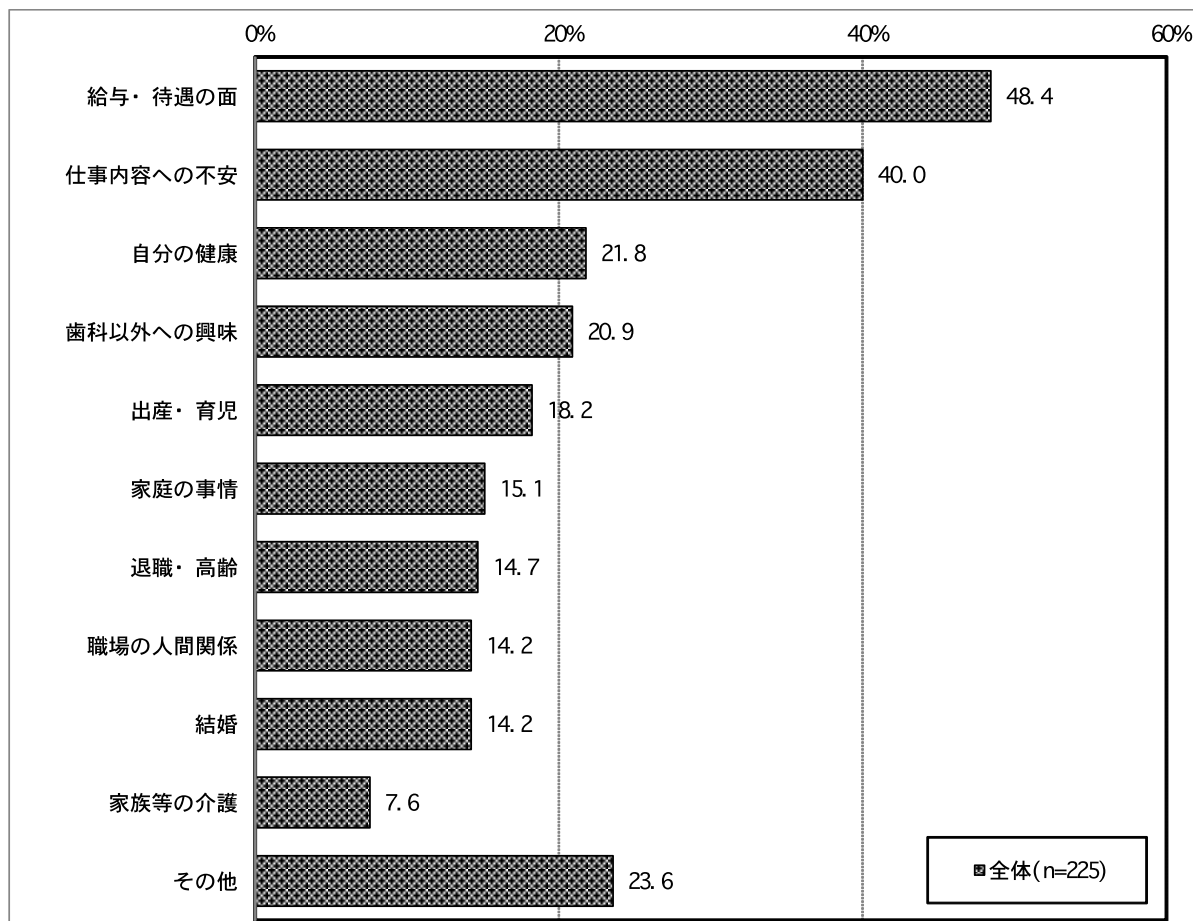


図19 現在、歯科技工士として就業していない理由（複数回答）

20. 現在、歯科技工士として就業していない最も主な理由

現在、歯科技工士として就業していない最も主な理由を全体でみると、「給与・待遇の面」が 25.9%、「仕事内容への不安」が 11.7%、「退職・高齢」が 9.8%、「自分の健康」が 8.3%、「結婚」、「歯科以外への興味」がともに 6.8%、「出産・育児」が 6.3%、「家庭の事情」が 5.4%、「家族等の介護」が 2.9%、「職場の人間関係」が 1.5%、「その他」が 14.6%であり、最も多い理由は、「給与・待遇の面」であった。次いで、「仕事内容への不安」である（図 20）。

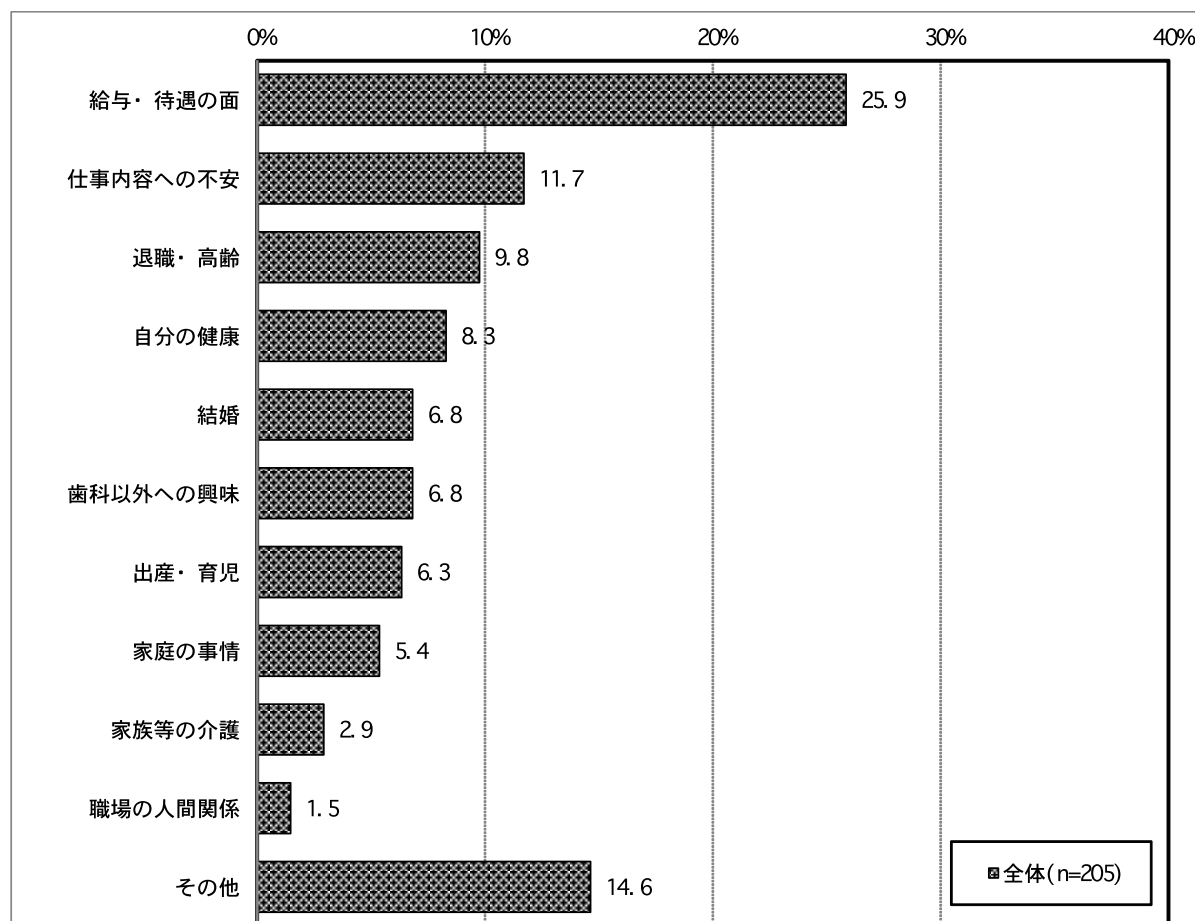


図 20 現在、歯科技工士として就業していない最も主な理由

21. 歯科技工士として復職したいと考えているか

歯科技工士として復職したいと考えているかを全体でみると、「そのつもりはない」が 57.8%、「わからない」が 20.0%、「条件が合えば復職したい」が 16.0%、「復職研修が受講できれば復職したい」が 3.1%、「すぐにでも再就職したい」が 0.9%であり、復職への希望は諸条件を考慮してほぼ 20%であった（図 21）。

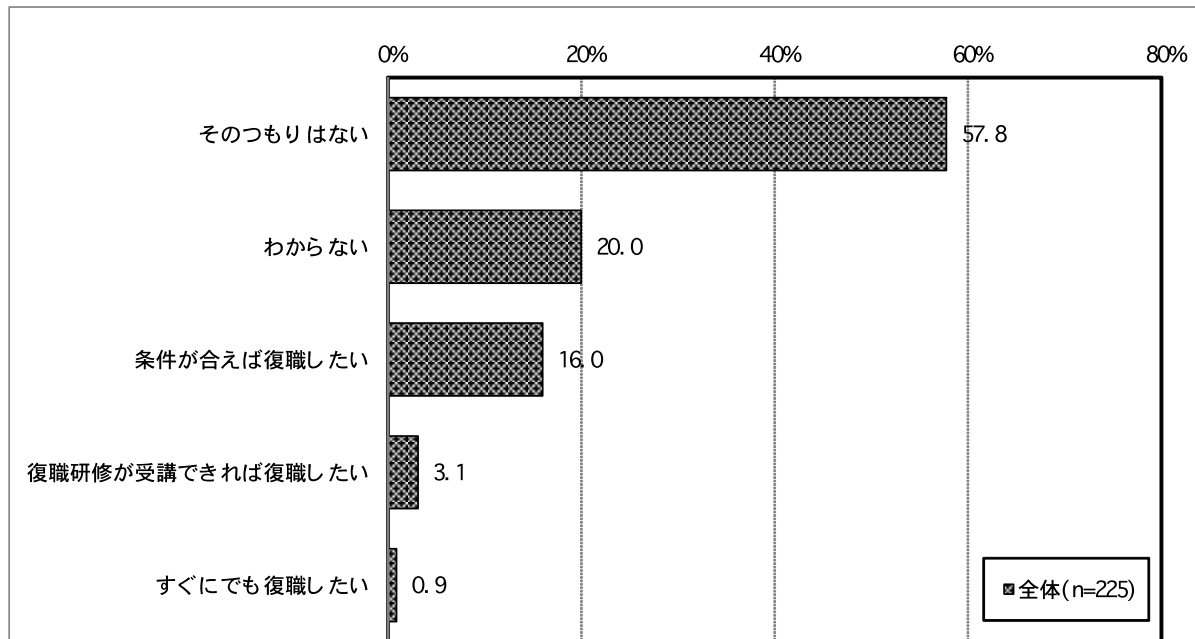


図 2 1 歯科技工士として復職したいと考えているか（複数回答）

22. 歯科技工士として復職する場合の就職先の探し方

歯科技工士として復職する場合の就職先の探し方を全体でみると、「ハローワーク」が57.3%、「友人・知人からの紹介」が25.3%、「求人誌（雑誌の求人欄、新聞・チラシ等も含む）」が16.9%、「インターネット」が15.1%、「出身学校の紹介」が12.4%、「歯科技工士会等の無料職業紹介」が6.2%、「人材派遣会社」が2.7%、「その他」が3.1%である（図22）。

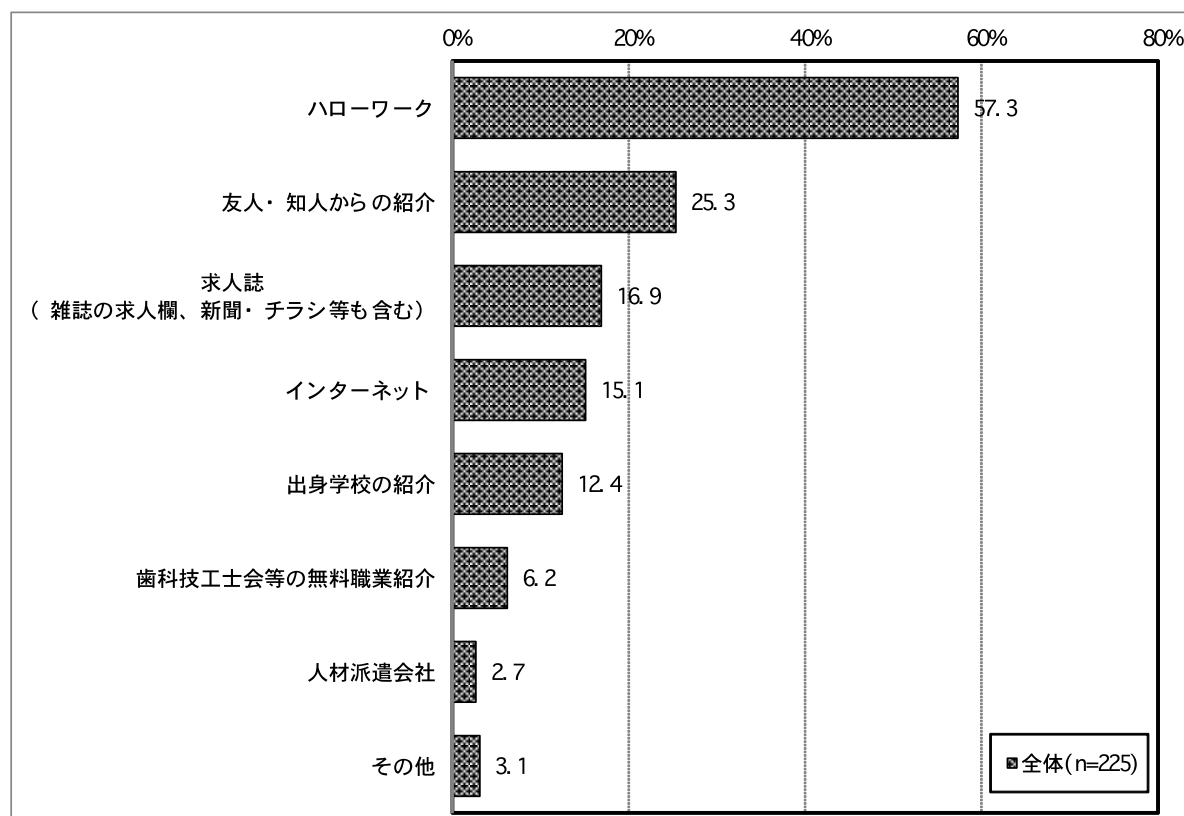


図22 歯科技工士として復職する場合の就職先の探し方（複数回答）

23. 復職するための研修希望の有無

復職するための研修希望の有無を全体で見ると、「希望する」が 28.4%、「希望しない」が 59.6%であり、「希望しない」が約 6 割程度である。

性別で見ると、「男性」では、「希望する」が 25.8%、「希望しない」が 61.3%、「女性」では、「希望する」が 30.3%、「希望しない」が 58.3%である。

年代別で見ると、「20 歳代」では、「希望する」が 22.0%、「希望しない」が 73.2%。「30 歳代」では、「希望する」が 33.3%、「希望しない」が 57.8%、「40 歳代」では、「希望する」が 38.2%、「希望しない」が 54.5%、「50 歳代」では、「希望する」が 20.0%、「希望しない」が 68.0%、「60 歳以上」では、「希望する」が 26.5%、「希望しない」が 41.2%である（図 23）。

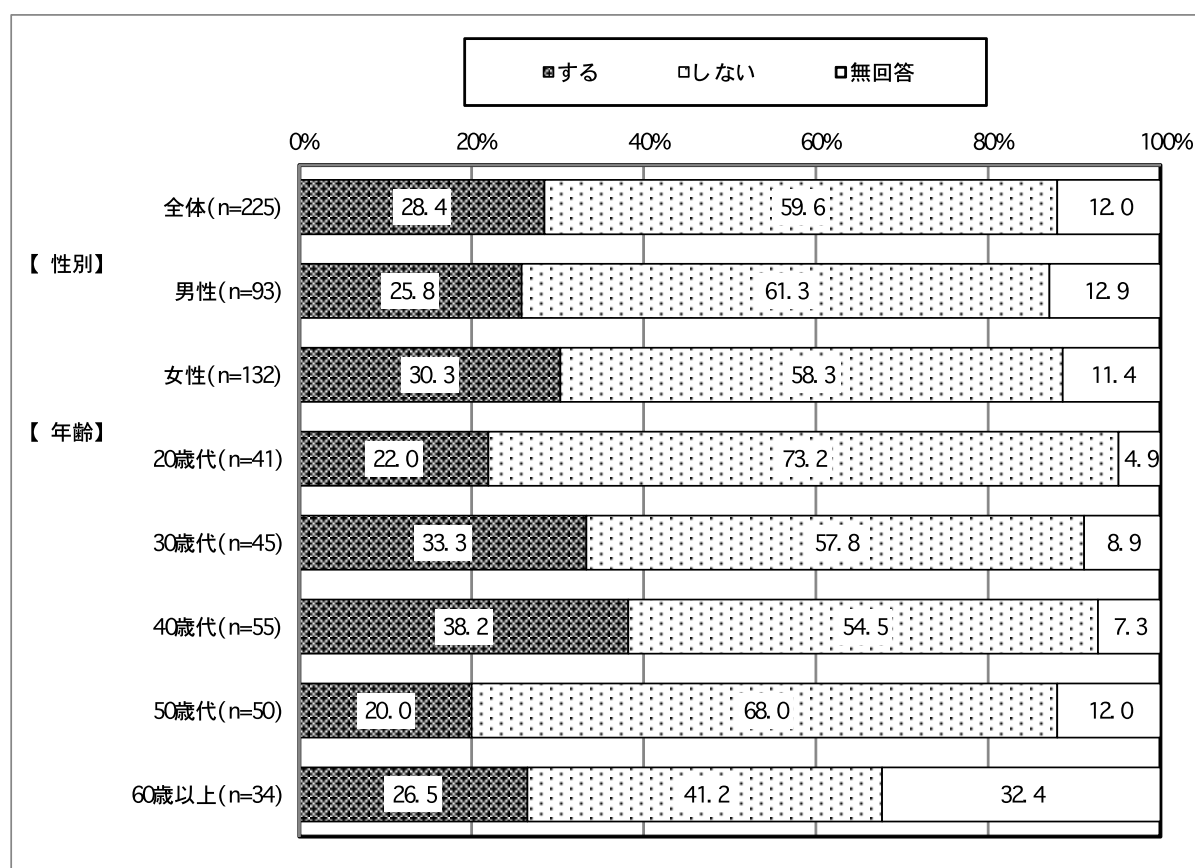


図 23 復職するための研修希望の有無

24. 復職するために希望する研修内容

復職するために希望する研修内容を全体で見ると「CAD/CAM」が31.3%、「前装冠の製作（ポーセンレン・硬質レジン）」が29.7%、「ブリッジ（形態の設計、講義、実習）」が28.1%、「パーシャルデンチャー（設計、講義、実習）」、「新しい前装冠材料（ジルコニア、プレス材料）」がともに25.0%、「作業模型の製作」が21.9%、「その他」が18.8%である（図24）。

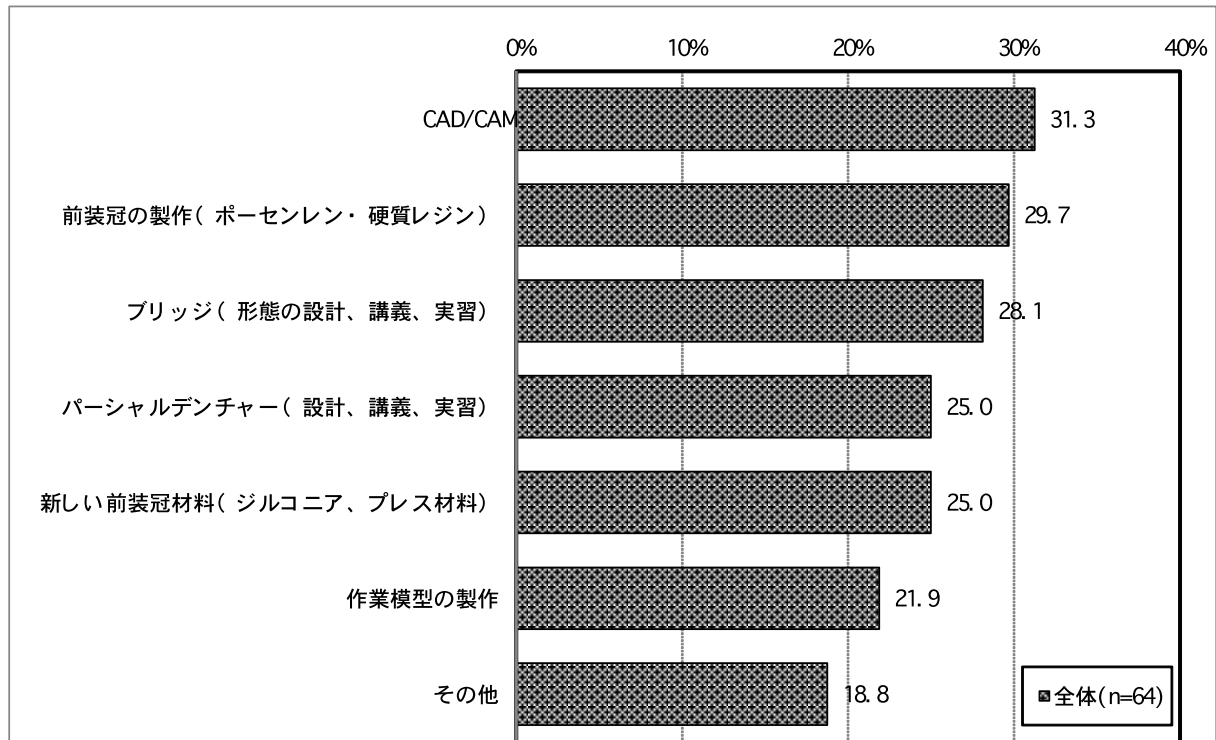


図24 復職するために希望する研修内容（複数回答）

25. 復職するために最も希望する研修内容

復職するために最も希望する研修内容を全体で見ると、「CAD/CAM」が28.6%、「パーシャルデンチャー（設計、講義、実習）」が17.1%、「新しい前装冠材料（ジルコニア、プレス材料）」が14.3%、「前装冠の製作（ポーセレン・硬質レジン）」、「ブリッジ（形態の設計、講義、実習）」がともに11.4%、「作業模型の製作」が5.7%、「その他」が11.4%であり、最も主な理由で多いのは、「CAD/CAM」である（図25）。

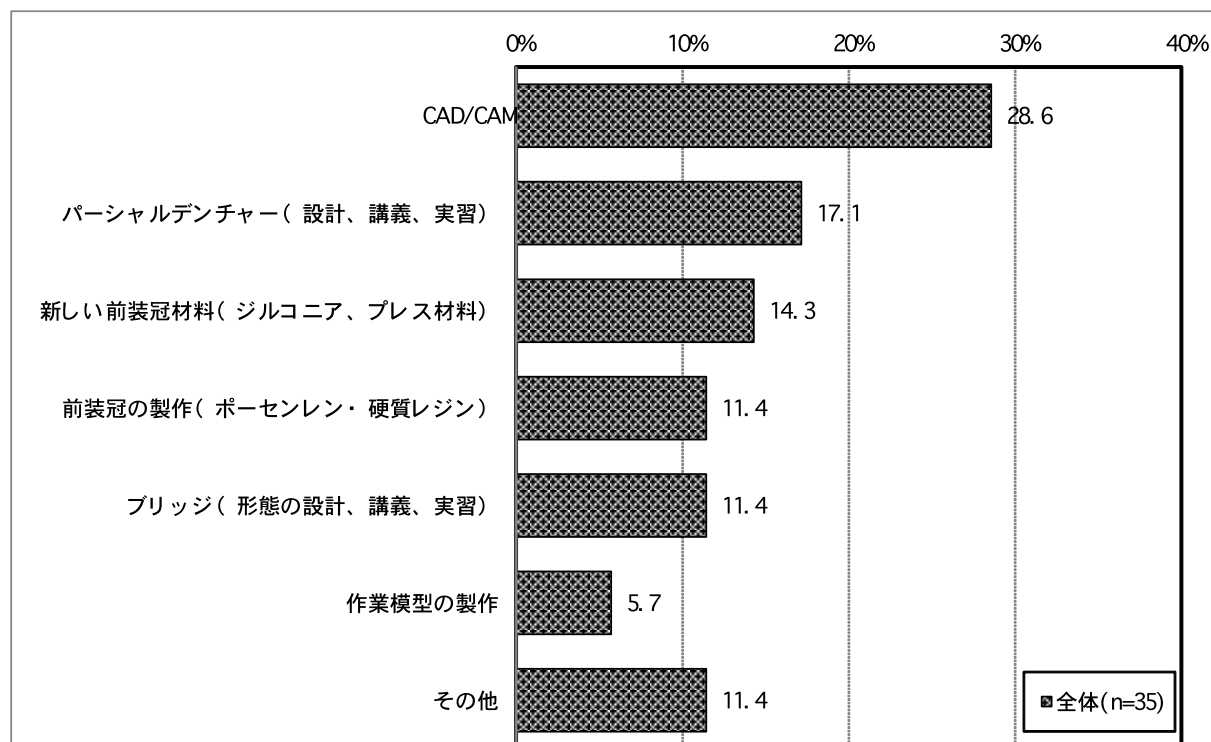


図25 復職するために最も希望する研修内容

26. 歯科技工士として復職する際の障害の有無

歯科技工士として復職する際の障害の有無を全体で見ると、「ある」が96.9%、「ない」が3.1%である。

性別で見ると、「男性」では、「ある」が95.8%、「ない」が4.2%、「女性」では、「ある」が97.5%、「ない」が2.5%である。

年代別で見ると、「20歳代」では、「ある」が100.0%、「ない」が0.0%、「30歳代」では、「ある」が93.3%、「ない」が6.7%、「40歳代」では、「ある」が100.0%、「ない」が0.0%、「50歳代」では、「ある」が90.0%、「ない」が10.0%、「60歳以上」では、「ある」が100.0%、「ない」が0.0%である(図26)。

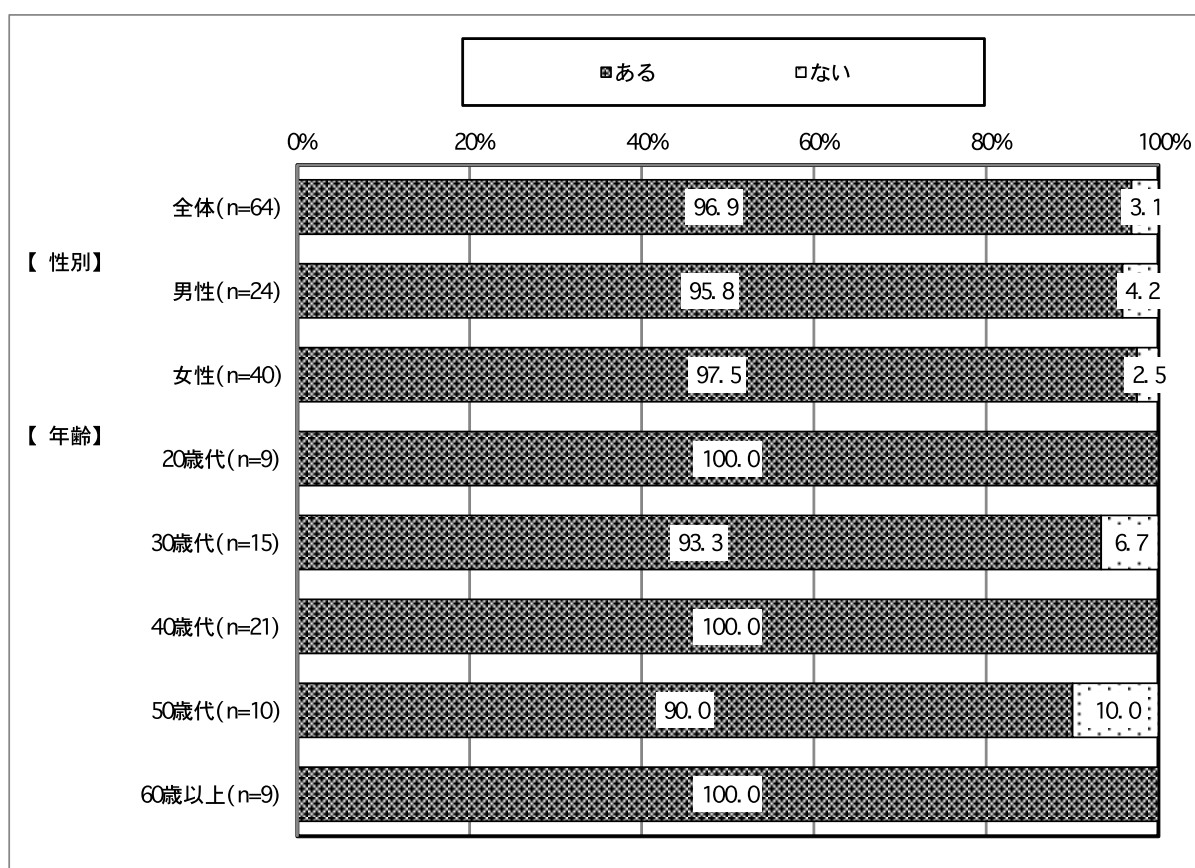


図26 歯科技工士として復職する際の障害の有無

27. 復職の際に障害になること

復職の際に障害になることを全体でみると、「ブランクがあるので不安」が 74.2%、「勤務時間」が 56.5%、「新しい技術がわからない」が 46.8%、「給与・待遇の面」が 38.7%、「勤務地」が 17.7%、「高齢のため」が 12.9%、「育児」が 11.3%、「介護する家族がいる」が 6.5%、「相談窓口がない」、「その他」がともに 4.8%である（図 27）。

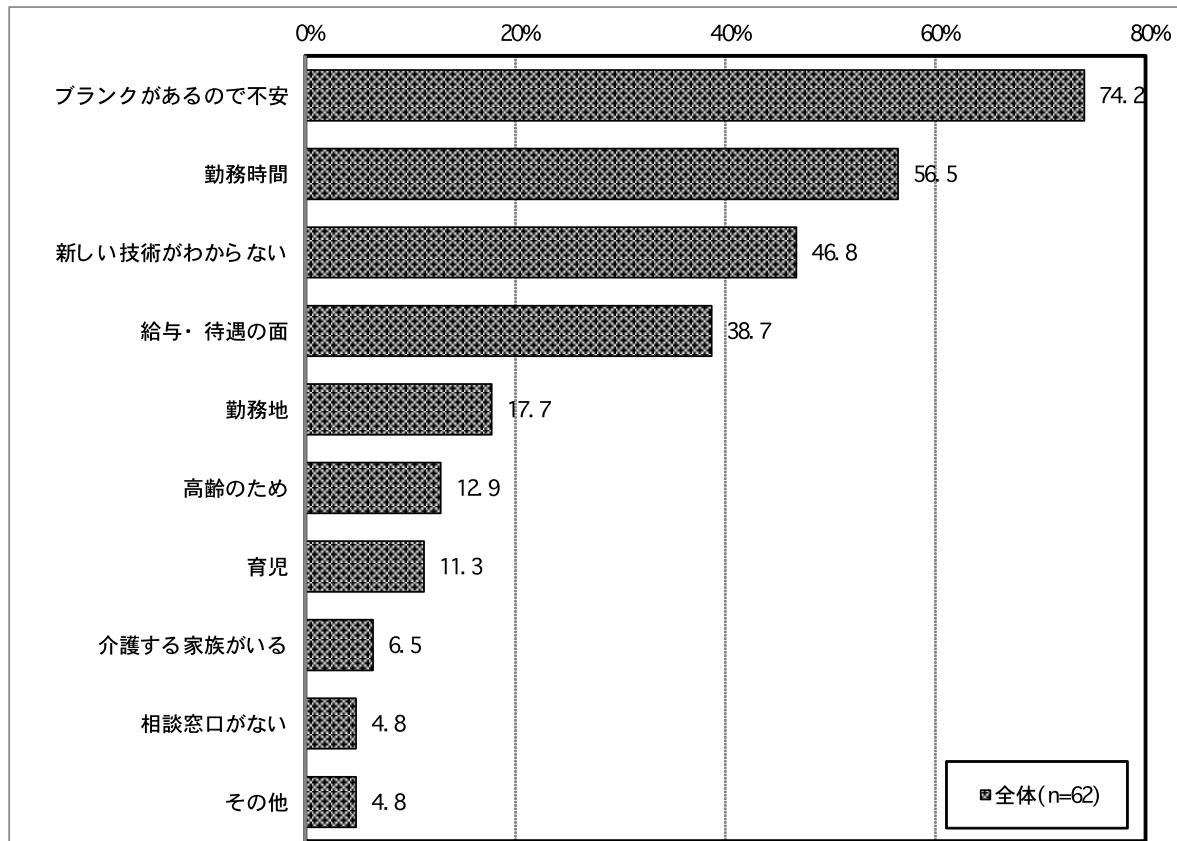


図 2 7 復職の際に障害になること（複数回答）

復職支援登録票

ご回答いただきました「歯科衛生士有資格者の就業状況と復職支援に関する調査」は、歯科衛生士有資格者の皆様の復職支援を目的としたものであり、今後、復職支援のための研修やネットワークづくりを検討するための資料とします。

今後、研修会への参加等をご希望される方は、「氏名」「住所」「連絡先」等を下記の登録票にご記入いただき、アンケート用紙とともにご返送ください。ご登録いただいた方には、研修会開催案内等の情報を提供いたします。

ご登録いただいた個人情報は、明倫短期大学において、厳重に管理・保管いたします。
(現在、就業されている方の登録も可能です。)

ふりがな お名前	-----	性別	男・女	※年齢	歳
お住まい	〒 -				
電話番号					
メールアドレス					
卒業校		卒業年度	年		
※経験年数等	歯科衛生士として 年勤務した(している)				

※ 平成 27 年 1 月 1 日現在でお答えください。

【調査実施機関・お問い合わせ先】

明倫短期大学 担当：総務課 渡邊

〒950-2086 新潟市西区真砂 3-16-10

☎ ☐025-232-6351 (平日 9:00~17:00)

FAX 025-232-6335 e-mail : tyosa@meirin-c.ac.jp

※ 歯科技工士登録票は省略

復職支援登録票集計表

平成27年3月17日現在

		歯科技工士			歯科衛生士			合計
		離職者	就業者	小計	離職者	就業者	小計	
全 体		53	70	123	150	213	363	486 (100.0%)
性 別	男 性	25	38	63	0	0	0	63 (13.0%)
	女 性	28	32	60	150	213	363	423 (87.0%)
住 ま い	下越	38	50	88	89	149	238	326 (67.1%)
	うち新潟市	25	32	57	64	112	176	233 (47.9%)
	中越	9	16	25	44	45	89	114 (23.5%)
	うち長岡市	4	11	15	11	23	34	49 (10.1%)
	上越	2	4	6	10	10	20	26 (5.3%)
	うち上越市	2	4	6	8	8	16	22 (4.5%)
	佐渡市	1	2	3	2	3	5	8 (1.6%)
	県外	2	6	8	3	4	7	15 (3.1%)
	うち関東甲信	2	5	7	3	4	7	14 (2.9%)
未記入	1	0	1	2	0	2	3 (0.6%)	
年 齢	20歳代	12	12	24	20	47	67	91 (18.7%)
	30歳代	11	13	24	48	63	111	135 (27.8%)
	40歳代	17	26	43	44	67	111	154 (31.7%)
	50歳代	9	13	22	27	28	55	77 (15.8%)
	60歳代	2	12	14	8	7	15	29 (6.0%)
	70歳代	1	1	2	3	0	3	5 (1.0%)
卒 業 校	新潟大学歯学部 口腔生命福祉学科	0	0	0	3	0	3	3 (0.6%)
	新潟大学歯学部 附属歯科技工士学校	9	4	13	0	0	0	13 (2.7%)
	日本歯科大学 新潟短期大学	0	0	0	51	72	123	123 (25.3%)
	歯友会歯科技術 専門学校	25	45	70	61	90	151	221 (45.5%)
	明倫短期大学	20	19	39	32	51	83	122 (25.1%)
	未記入	0	2	2	1	1	2	4 (0.8%)
経 験 年 数	5年未満	25	9	34	39	34	73	107 (22.0%)
	5年以上10年未満	9	6	15	48	49	97	112 (23.0%)
	10年以上15年未満	2	3	5	31	25	56	61 (12.6%)
	15年以上20年未満	4	9	13	12	44	56	69 (14.2%)
	20年以上25年未満	2	8	10	4	27	31	41 (8.4%)
	25年以上30年未満	5	11	16	8	20	28	44 (9.1%)
	30年以上35年未満	0	6	6	1	3	4	10 (2.1%)
	35年以上40年未満	5	10	15	1	3	4	19 (3.9%)
	40年以上45年未満	0	3	3	1	1	2	5 (1.0%)
	45年以上	0	3	3	0	1	1	4 (0.8%)
	未記入	0	0	0	6	6	12	12 (2.5%)